指宿市考古博物館
時遊館COCCOはしむれ

平成8年度

博物館だより

年報・紀要
第1号

指宿市教育委員会

序

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれは，指宿市の文化情報の発信，市民と観光客の交流の場として，平成８年４月20日にオープンいたしました。この博物館は，南に約4.2ヘクタールの国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡が広がり，野外の遺跡と博物館が一体となった施設です。

指宿市は，温泉で有名な国際観光保養都市です。この博物館は，温泉を含む雄大で恵まれた自然とそこに息づいた指宿の先人たちの歴史と文化を紐解く施設として「火山と隼人いきづく文化」というメインテーマを設定しています。

この冊子は，そうした指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」の平成８年度の活動の状況をまとめたものです。この中にもございますようにこの１年間，さまざまな行事を企画してまいりました。

おかげさまで，ご来館いただいた方々のほとんどが「来てよかった。」「楽しかった。」「また来たい。」とおっしゃって頂いております。これをはげみに，今後とも，よりよい博物館をめざしてまいりたいと思います。

はじめてのことも多く，多方面の方々にご協力なくしてはできなかったことも多かったと存じ上げます。ご協力頂いた各位に対して深甚の感謝の意を表わしたいとおもいます。

指宿市考古博物館
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
館長　山下隼雄

目　　次

館報編
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの沿革 …… 1
(1) 沿　革 …… 1
(2) 考古博物館建設関係委員会の経過 …… 2
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの概要 …… 3
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
（指宿市教育委員会社会課文化係）平成８年度の事業について …… 7
１．時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの事業 …… 7
２．各事業の実績と展開 …… 8
◆　博物館事業の部 …… 8
(1) 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ開館セレモニー …… 8
(2) 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれギャラリーオープン記念企画展示『指宿の現代薩摩焼展－伝統と革新－』 …8
(3) ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会 …… 8
(4) ＣＯＣＣＯ考古学セミナー …… 10
(5) 古代住居宿泊体験 …… 11
(6) ミニ企画『暮らしの中の薩摩焼』 …… 12
(7) ＣＯＣＣＯニューイヤーコンサート …… 13
(8) 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれフォーラム『火山災害と人類－火山と人類の歴史をたずねて』 …… 14
(9) 博物館資料収集活動（実践資料・書籍・写真等） …… 15
(10) 博物館資料保存・修復活動（実践資料・書籍・写真等） …… 15
(11) 博物館教育・普及活動 …… 16
(12) 『ＣＯＣＣＯだより』の発刊 …… 19
(13) 図録・ミュージアムグッズの頒布 …… 35
(14) カフェの委託 …… 35
(15) 博物館広告・ホームページ管理 …… 37
◆　後援・協賛事業の部 …… 38
(17) シルバー美術館 …… 38
◆　発掘・調査の部 …… 39
(22) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査 …… 39
(23) 敷領遺跡の発掘調査（市・県営住宅建設に伴う発掘調査） …… 39
(24) 向吉地区発掘調査（下水敷設に伴う発掘調査） …… 39
(25) 広域農道整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査 …… 39
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　平成８年度の入館者推移表 …… 42
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの設置及び管理に関する条例 …… 43
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの設置及び管理に関する条例施行規則 …… 46
指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　諸様式 …… 49

紀要編
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ平成８年度陶磁器コレクション …… 64
指宿市内専売公社跡倉庫で発見された須恵器付き碗について …… 71

館　報　編

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＯはしむれの沿革

(1) 沿　革

時遊館ＣＯＣＯはしむれは，指宿市の文化振興，情報発信のため，平成元年度より建設計画について長期計画の中に位置付けられた。

その後，平成３年度以降，具体的な計画が模索され，平成８年度開館を目処に計画が進められることとなった。

時遊館ＣＯＣＯはしむれは，当初，「歴史民俗資料館(仮称)」でスタートしたが，地域の特徴を明確に出すには，歴史・民俗資料だけでは不十分であり，ひろく火山関係などの自然系資料の蓄積が必要であるということ，そして，広い文化活動を目指すため「博物館」という形態で進められることとなった。

博物館建設の計画の推進にあたっては，博物館推進委員会・博物館建設検討委員会・博物館専門委員会・公聴会などの会が組織・開催され，事務局は，教育委員会社会教育課が担当した。

各会議の開催日とテーマについては，以下『(2)考古博物館建設関係委員会の経過』に記す。

また，建設のあゆみについては下記のとおりである。

平成元年４月	歴史民俗資料館構想策定
平成３年６月	歴史民俗資料館から博物館構想へ移行
	博物館建設用地決定（庁議７月プロジェクト会議開催）
	博物館・歴史の広場事業用地所得
	土地取引委員会設置
10月	博物館建設推進委員会設置
11月	博物館建設検討委員会設置
	建設基本計画委託
12月	博物館古本計画委託
平成４年６月	博物館・ガイダンス用地事業認定申請
	博物館・ガイダンス用地売買交渉開始
	博物館・ガイダンス用地売買契約完了
平成５年２月	地質調査業務委託
６月	展示基本・実施設計委託，建設基本・実施設計委託
	古代住居確認調査
11月	ガイダンス施設実施設計
	古代住居復元設計遺構全体模型制作
	橋牟礼川遺跡便益施設工事
12月	建築実施設計完了
平成６年３月	展示実施設計完了
７月	建設工事監理業務委託
８年	建設工事入札建設・展示工事議会承認
９月	博物館・ガイダンス建設工事契約・着工，展示工事契約遺構全体模型設置工事
平成７年３月	ガイダンス建設工事竣工
７月	建築工事竣工引き渡し，考古博物館愛称の公募
９月	博物館の愛称が「時遊館ＣＯＣＯ橋牟礼」に決定，博物館，ガイダンス施設備品購入
11月	古代住居４棟復元工事
12月	博物館の設置及び管理条例可決
平成８年２月	管理施設工事（史跡整備工事）ふるさと歴史の広場事業修景施設工事
３月	展示工事竣工引き渡し
４月	開館

(2) 考古博物館建設関係委員会の経過

平成３年10月28日	推進委員会	考古博物館建設基本計画委託について
平成３年12月２日	検討委員会	考古博物館建設構想について
平成３年12月26日	専門委員会	建設構想の説明，検討
平成４年１月10日	推進委員会	まちづくり特別対策事業
平成４年２月17日	公聴会	建設構想の検討
平成４年２月20日	検討委員会	専門委員会・公聴会及び視察研修報告
平成４年５月30日	〃	基本計画の説明及び研修視察について
平成４年６月20日	専門委員会	基本計画・展示基本計画説明
平成４年７月18日	〃	第１展示室展示案説明，検討
平成４年７月20日	検討委員会	視察研修報告
平成４年９月19日	専門委員会	第２展示室展示案説明，検討
平成４年10月17日	〃	第３展示室展示案説明，検討
平成４年10月17日	検討委員会	土地所得の経緯・建設計画・基本設計について
平成４年10月31日	〃	建設に関する概要
平成４年11月２日	〃	建設に関する概要
平成４年11月21日	専門委員会	基本設計の委託について
平成４年12月５日	〃	第４展示室展示案説明，検討
平成４年12月19日	〃	第５展示室展示案説明，検討
平成４年12月24日	〃	建設計画について
平成５年１月８日	検討委員会	建設スケジュールの見直しについて
平成５年１月30日	専門委員会	学習情報室について
平成５年２月22日	検討委員会	建設スケジュールの見直しについて
平成５年３月２日	推進委員会	展示基本設計・建設設計について
平成５年４月13日	〃	展示基本設計・建設設計について
平成５年４月30日	検討委員会	展示基本設計について
平成５年７月12日	推進委員会	建築基本設計について
平成５年７月17日	専門委員会	展示基本設計について
平成５年７月26日	検討委員会	建築基本設計について
平成５年８月27日	推進委員会	建築基本設計について
平成５年９月18日	専門委員会	建築基本設計について
平成５年10月30日	〃	ガイダンス施設遺構模型について
平成５年11月９日	推進委員会	建築基本設計について
平成５年11月20日	専門委員会	展示実施設計中間報告
平成５年12月18日	〃	建築実施設計報告
平成６年１月25日	公聴会	展示内容・建築設計について
平成６年２月24日	検討委員会	展示内容・建築設計について
平成６年３月５日	専門委員会	展示実施設計について
平成６年６月17日	推進委員会	博物館建設工事について
平成６年６月24日	〃	博物館建設工事について
平成６年８月20日	専門委員会	博物館建設スケジュール説明
平成６年10月１日	〃	博物館運営について
平成６年11月19日	〃	特別展示・企画展示案について
平成６年12月17日	〃	特別展示及び映像ソフトについて
平成７年３月21日	〃	旧石器時代港川原人のコンピューターグラフィックスについて
平成７年６月１日	運営懇談会	観光ルート位置付けについて
平成７年７月15日	専門委員会	映像シナリオについて
平成７年９月12日	推進委員会	愛称選定について
平成７年９月19日	〃	愛称決定について
平成７年９月25日	検討委員会	愛称決定方法及び承認について

▶博物館事業の概要

・所在地	鹿児島県指宿市十二町2290番地
・敷地面積	4,900㎡
・建築面積	1,500㎡
・延床面積	3,163㎡
・展示面積	830㎡
・構造	鉄筋コンクリート造２階建
・総事業費	19億８千万円
・工期	着工平成６年10月～完成平成８年３月
・建築設計・監理	安井建築設計事務所
・施工建築主体工事	株式会社間組・迫田建設株式会社共同企業体
・電気設備工事	株式会社佐電工
・展示工事	株式会社丹青社
・空気調和設備工事	川本工業株式会社
・給排水衛生設備工事	有限会社丸山水道工務店
・Ｃ・Ｇ制作	株式会社アイ・エヌ・エー

▶ふるさと歴史の広場事業の概要

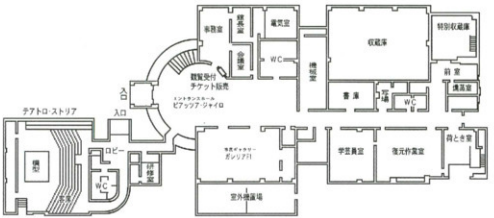
＜ガイダンス施設＞

・建築面積	426㎡
・延床面積	423㎡
・構造	鉄筋コンクリート造
・総事業費	３億４千万円（史跡整備費含）
・工期	着工平成５年７月～完成平成８年３月
・建築設計・監理	株式会社空間文化開発機構
・施工建築主体工事	九州電気水道株式会社
・電気設備工事	有限会社オーデン
・空気調和設備工事	南栄設備株式会社
・給排水衛生設備工事	九州電気水道株式会社
・模型設置工事	株式会社京都科学
・映像制作委託	株式会社オフィス・トゥ・ワン

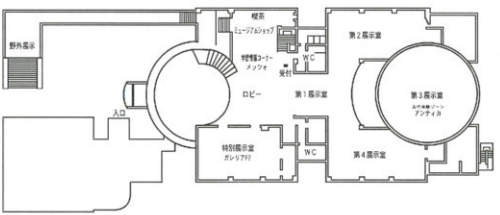
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ全景

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの施設概要

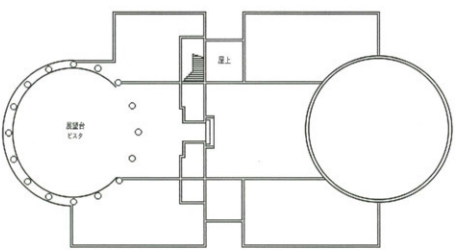
１階平面図



２階平面図



３階平面図



第1展示室

第2展示室

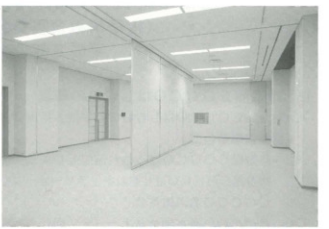
第3展示室

第4展示室

歴史劇場

特別収蔵庫

一般収蔵庫



講堂・ギャラリー

主要施設面積一覧

事務室系	事務室	64
	館長室	25
	会議室	24
教育普及系	講堂・ギャラリー	150
	学習情報コーナー	35
調査研究系	学芸員室	90
	復元作業室	113
	写場	17
	暗室	6
収集整理・保存保管系	書庫	45
	収蔵庫	233
	特別収蔵庫	77
	収蔵庫前室	21
	荷とき室 トラックヤード	55
	燻蒸室	12

(㎡)

展示系	第1展示室	120
	第2展示室	144
	第3展示室	272
	第4展示室	144
	特別展示室	150
その他スペース	カフェ・ショップ	72
	エントランスホール	166
	1階ロビー	114
	2階ロビー	102
	機械室他，共用系	902

(㎡)

※展望台ビスタ　229

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
（指宿市教育委員会社会教育課文化係）
平成８年度の事業について

1.　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの事業

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは平成８年度において以下の事業を行った。

《博物館事業の部》

(1)　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ開館セレモニー・オープニングフェスティバル
(2)　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれギャラリーオープン記念企画展示『指宿の現代薩摩焼展－伝説と革新－』
(3)　ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会
(4)　ＣＯＣＣＯ考古学セミナー（全７回）
(5)　古代住居宿泊体験
(6)　ミニ企画展『暮らしの中の薩摩焼』
(7)　ニューイヤーコンサート
(8)　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれフォーラム『火山災害と人類－火山と人類の歴史をたずねて』
(9)　博物館資料収集活動（実物資料・書籍等・写真等）
(10)　博物館資料保存・修復活動
(11)　博物館教育・普及活動（ミュージアムティーチャー会による解説活動）
(12)　『ＣＯＣＣＯだより』の発刊
(13)　図録・ミュージアムグッズの頒布
(14)　カフェの委託
(15)　博物館誘導看板整備
(16)　博物館広報・ホームページ管理

《後援・協賛事業の部》

(17)　指宿シルバー美術展
(18)　指宿市文化祭
(19)　いでゆ会発表展
(20)　薩摩郷句新春発表会
(21)　あざみの会発表展

《発掘調査の部》

(22)　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査
(23)　敷領遺跡の発掘調査（市・県営住宅建設に伴う発掘調査）
(24)　向吉地区発掘調査（下水道敷設に伴う発掘調査）
(25)　広域農道整備に伴う確認調査

《文化財保護の部》

(26)　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡管理
(27)　市指定文化財管理
(28)　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡買上事業

《刊行・編集書籍等》

(29)　常設展示図録
(30)　『暮らしの中の薩摩焼』展示図録
(31)　『火山災害と人類－火山と人類の歴史をたずねて』資料集
(32)　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡跡等範囲確認調査報告書
(33)　橋牟礼川遺跡発掘調査概要報告（増刷）
(34)　『博物館紀要』発刊

2. 各事業の実績と展開

◆ 博物館事業の部

（1） 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ開館セレモニー

〈開館セレモニー〉

a. 目 的　指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの開館に即して，関係者に周知すると同時に市民に広く開放し，その内容を公開した。

b. 日 時　平成８年４月20日（土）

c. 場 所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ全館

d. 内 容　開館記念式典・博物館無料開放

e. 主 催　指宿市

〈オープニングフェスティバル〉

a. 目 的　指宿市考古博物館開館記念式典に伴い，隣接する国指定史跡橋牟礼川遺跡歴史後援の敷地内において，開館記念フェスティバルを開催した。このフェスティバルは，以下の内容である。

b. 日 時　平成８年４月20日（土）

c. 場 所　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡

d. 内 容　湯豊太鼓演奏
郷土芸能踊り：岩本棒踊り，宮ノ前唐人踊り，ちょいのちょい
古代人仮装コンクール
各種ゲーム　：古代にまつわるクイズゲーム，宝探しゲーム，じゃんけんゲーム

上記の内容で，14:30～17:00まで開催され，会場に集まった方は500人を超えており，博物館の指宿市内に対するアピール，南九州の情報発信基地としてこれからの活動が期待できることを促すことができた。

e. 主 催　指宿市

（2） 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれギャラリーオープン記念企画展示『指宿の現代薩摩焼展－伝統と革新－』

a. 目 的　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの『ガレリアＦ２』（２階特別展示室）の市民にその施設を公開すると同時に，指宿市の伝統的な産業のひとつである陶業「薩摩焼」を中心とした展示を行い郷土の文化情報の発信を行った。

b. 日 時　平成８年４月20日（土）～同月26日（金）（休館日を除く）
午前９：00～午後５：00

c. 場 所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれガレリアＦ１（２階特別展示室）

d. 内 容　いぶすき窯元会に属する６つの窯元からその新作を含めた代表的な作品を展示した。
資料点数　60点（各窯元10点づつ）

e. 主 催　指宿市・指宿市教育委員会・いぶすき窯元会

（3） ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

a. 目 的　指宿市考古博物館では，「名画100選」からソフトを選択し，これを上映する「ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会」を館独自の企画事業として行った。

b. 日 時　ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は，毎月２回のペースで開催した。上映時間は，会場となる歴史劇場での「開け！大地のタイムカプセル」（橋牟礼川解説映像）上映とバッティングを避けるため，土曜日夜７時から行うこととした。これに合わせて，常設展示室の夜間公開９時まで行った。

c. 場 所　歴史劇場

d. 内 容　現在のところ，ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は非常に好評を博している。来館者の年齢層は中高年の入場者が主体を占めているが，上映ソフトによっては，小中学生も来館している。地域博物館の活動の中とつの方向性として，今後ともＣＯＣＣＯ名画鑑賞会を継続してゆくべきと考える。

e. 主 催　指宿市教育委員会

名画鑑賞会来館者集計

日　時	作　品　名	人　員
8月10日	キングコング	56
8月15日	フランケンシュタイン	23
8月24日	チャップリンのキッド	23
9月14日	モロッコ	76
9月28日	ガス灯	62
10月12日	禁じられた遊び	87
10月29日	第3の男	64
11月23日	三文オペラ	42
12月7日	幌馬車	40
12月23日	素晴らしき哉人生	30
1月1日	モロッコ	32
1月2日	ガス灯	35
1月3日	禁じられた遊び	21
1月4日	自転車泥棒	51
1月25日	西部戦線異常なし	12
2月8日	制服の処女	12
2月22日	オペラ座の怪人	17
3月8日	若草物語	46
	合　計	729

COCCO名画鑑賞会ポスター

（4） COCCO考古学セミナー

a. 目 的　指宿市内外を問わず，一般の方々の歴史や文化に対する興味・関心を喚起するとともに生涯学習の一環として，より教養を深めてもらうことを主旨とし，全７回の講座を設けた。バラエティーに富んだ内容の学習要望があったことから，日本考古学の他，海外の考古学，文献史学，動物解剖学，人類学などの諸分野から講座を構成し，個々の興味関心に合わせた選択ができる形をとった。

b. 主 催　指宿市教育委員会

c. セミナーの内容と実績

各講座の実施状況は下記のとおりである。

〈第１回〉
日　　時　８月５日（土）午後３時～４時
講師・題目　上村俊雄先生（鹿児島大学）『熊襲・隼人世界の人々とその文化』
参加人員　145名

〈第２回〉
日　　時　９月14日（土）午後３時～４時
講師・題目　渡辺芳郎先生（鹿児島大学）『数千年の時をこえて　古代中国からのメッセージ』
参加人員　86名

〈第３回〉
日　　時　10月５日（土）午後３時～４時
講師・題目　中村明蔵先生（鹿児島経済大学）『大和朝廷と南九州　古代隼人の謎にせまる』
参加人員　96名

〈第４回〉
日　　時　11月９日（土）午後３時～４時
講師・題目　西中川駿先生（鹿児島大学）『古代馬，古代牛は指宿にもいた?!我が国の馬と牛のルーツを探る』
参加人員　32名

〈第５回〉
日　　時　12月７日（土）午後３時～４時
講師・題目　新東晃一先生（鹿児島県立埋蔵文化財センター）『花開く南九州の縄文文化』
参加人員　36名

〈第６回〉
日　　時　１月11日（土）午後３時～４時
講師・題目　新田栄治先生（鹿児島大学）『東南アジアの地中海世界－銅鼓の世界－』
参加人員　42名

〈第７回〉
日　　時　２月８日（土）午後３時～４時
講師・題目　小片丘彦先生（鹿児島大学）『骨の秘密教えます。骨が語る日本人』
参加人員　36名

参加者合計
437名

（5） 古代住居宿泊体験

指宿市考古博物館，歴史劇場と博物館に隣接している国指定史跡橋牟礼川遺跡歴史公園を有機的に結びつけて活用する事業として，「古代にチャレンジ」を実施した。

a. 目 的　現在，豊かで暮らしやすい空間で何ら不自由なこともなく過ごしている子供達に，古代人の生活や忘れられてしまった古代人の素晴らしい知恵と技を自らの体で体験させ，古代人が自然とともに豊かな生活をしていたことを肌で感じ取るなど，未来を担う子供達がこれからの未来について過去の素材から考えさせる機会をつくらせる。

b. 日 時　平成８年８月19日～20日

c. 場 所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれおよび国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡

d. 内 容　８月19日（土）
「古代にチャレンジ」結団式・古代服作成・古代人の生活と知恵に触れる・古代勾玉づくり・古代皿・古代食づくり・古代まつり・古代住居宿泊体験
８月20日（日）
古代朝食試食・古代の絵をかこう・古代生活の体験感想文作成・「古代にチャレンジ」解散式

e. 成 果　指宿市考古博物館が開館した後，指宿市内の子供達を１日預かり，子供達の自主性を尊重し子供達の考えで判断，活動させることを中心として古代人の生活に触れさせる事業としては初めてであり，何もかも手探り状態であったが，１人のけが人・病気もだすこともなく全てのスケジュールを無事終了できた。
子供達は，学校の授業の中で古代人の生活を未開で，貧しく，野蛮人だというイメージが強かったようだが，「古代にチャレンジ」に参加した後は，自分たちの直接の先祖が豊かな自然と共に，素晴らしい文化を築いていたことを発見したようである。

f. 参加者　指宿市内小中学生および児童31名（小学生28名，中学生３名）

古代にチャレンジ

（6） ミニ企画展『暮らしの中の薩摩焼』

a. 目 的　「暮らしの中の薩摩焼展」を通じて自分たちの暮らしに根付いている薩摩焼をもう一度再認識し，自分たちがこの薩摩焼をどのように活用し生活の一部として今後とも用いていくか，また，来館したことをきっかけとして焼き物に興味をいだき郷土文化を再認識することを目的としている。

b. 日 時　平成８年10月１日～10月31日（休館日を除く）

c. 場 所　指宿市考古博物館特別展示室（ガレリアＦ２）

d. 内 容　平成８年４月20日に指宿市考古学博物館が開館してから半年後に，平成８年度秋季企画展として「暮らしの中の薩摩焼展」を開催した。今回の企画展には，国際ソロプチミスト指宿より寄贈を受けた薩摩焼253点の中から83点を厳選し展示した。開催期間中には幅広い年齢層の方々が来館し，韓国の陶業の系譜の上に，薩摩で誕生・発展していった薩摩焼をじっくりと見学していた。中には北海道からこの企画展をご覧になった来館者もいた。入場は無料で，入場者数は3100名を数えた。

e. 主 催　指宿市・指宿市教育委員会・ソロプチミスト指宿

ミニ企画展『くらしの中の薩摩焼』

（7） COCCOニューイヤーコンサート

a. 目 的　ニューイヤーコンサートは，指宿市考古博物館が広く文化情報の発信を行うものであるから，音楽活動の一環としてクラリネット合唱団アンサンブルKの公演会を開催した。

b. 日 時　平成９年１月12日（土）16：00～18：00

c. 場 所　エントランスロビー（ピアッツァ・ジァイロ）

d. 内 容　クラリネット合唱団アンサンブルによる演奏で，演奏会場は１階ロビー（ピアッツァ・ジァイロ）とした。ロビーは吹き抜けの円筒形をしており，ブラインドを用いることで音響も良好な状態に調整できる。客席は臨時席であるが，120～130席は十分確保できる。コンサート当日は立見客を含めて160名ほどの来館があった。指宿市内ではこうしたミニコンサートの機会が少ないこともあり，市民の反応も良く，継続的なイベントとして今後も行うべきと考えられる。

e. 主 催　指宿市・クラリネット合唱団アンサンブルK

COCCOニューイヤーコンサート

出演：アンサンブルK

（8） 時遊館ＣＯＣＣＯはしむれフォーラム『火山災害と人類－火山と人類の歴史をたずねて』

a. 目 的　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれは，「自然と隼人いきづく文化」という展示テーマを掲げているように，旧石器時代から，現代に至るまで，火山との関わりは切ってもきれない関係にある。特に，火山の恵みとしての温泉は，国際観光保養都市として，指宿市の繁栄を支えてきたものということができる。

一方，火山は，時として，噴火災害などを発生させてきた。その痕跡は，国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡などにも顕著なように，指宿市の歴史の中で無視できない。

そこで，火山と人間との関わりを歴史の上からひも解き，防災意識も含めて，災害の歴史への興味を啓発することを目的に行われた。

b. 日 時　平成９年１月19日（日曜日）

c. 場 所　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ１階市民ギャラリー・１階歴史劇場・１階ロビー

d. 内 容　テーマは『災害と人類』－火山と人類の歴史をたずねて－とし，研究発表，ポスターセッション，記念講演会を実施した。資料の作製も同時におこない，資料及び博物館入場料として800円を徴収した。　参加人員は71名

1. 火山・災害考古学研究会総会
2. フォーラム（第１部）研究発表
   (1)『指宿地域の火山災害遺跡』指宿市教育委員会　下山覚・渡部徹也・中摩浩太郎・鎌田洋昭
   (2)『文献から見る鹿児島の火山噴火』鹿児島ラ・サール学園教諭　永山修一
   (3)『２つの火山が縄文社会に与えた影響』鹿児島県埋蔵文化財センター課長補佐 新東晃一
   (4)『火山噴火が環境と文明に与えた影響』鹿児島大学教授　森脇　広
3. フォーラム（第１部）・ポスターセッション
   (1)『広原地区遺跡』宮崎県埋蔵文化センター　北郷泰道・久木田浩子・平原英樹
   (2)『籐兵衛坂段遺跡』福山町教育委員会社会教育課主査　吉留道幸
4. フォーラム（第２部）・特別講演会
   題目『ウェスウィウス火山の噴火とポンペイ』財団法人古代学研究会教授兼副所長同志社大学名誉教授ポンペイ遺跡学術調査隊員　浅香　正

e. 主 催　指宿市，指宿市教育委員会，古代学協会，古代学研究所，火山・災害考古学研究会

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれフォーラム『火山災害と人類－火山と人類の歴史をたずねて－』
特別講演：浅香　正氏

（9） 博物館資料収集活動（実践資料・書籍・写真等）

a. 目 的　博物館としての基幹となる事業の一つとして，資料の収集活動がある。

b. 場 所　特別収蔵庫

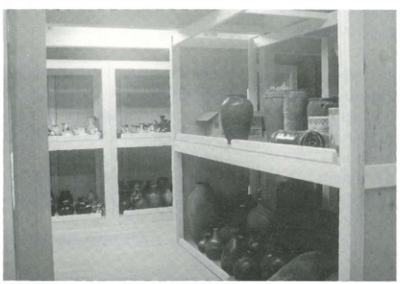
c. 内 容　今年度は，国際ソロプチミスト指宿より薩摩焼等陶磁器の寄贈資料が253点あった。また，旧専売公社跡地倉庫内に収蔵されていた民俗資料・文書資料等も博物館に移動したが，これらについては，平成９年度に整理を行う予定である。

(10) 博物館資料保存・修復活動（実物資料・書籍等・写真等）

a. 目 的　博物館としての基幹となる事業の一つとして，資料の保存・修復活動がある。

b. 場 所　復元作業室

c. 内 容　今年度は，国際ソロプチミスト指宿による寄贈資料，旧専売公社跡地倉庫内に収蔵されていた民俗資料・文書資料等について，くん蒸作業を実施した。くん蒸作業は，殺かび，殺虫を期して行われた。



特別収蔵庫収蔵状況

収集資料くん蒸作業

(11) 博物館教育・普及活動

博物館としての基幹となる事業の一つとして，教育・普及活動がある。

〈ミュージアムティーチャー（博物館指導員）による案内・解説〉

●ミュージアムティーチャー制度の概要

博物館の教育普及活動の最も基礎的な業務の一つである常設展示の案内・解説について，恒常的な情報の提供，教育普及効果の向上を目的にミュージアムティーチャー制度を導入した。ミュージアムティーチャーの組織は下記のとおりである。

（ミュージアムティーチャー４名　案内・解説・教育業務
（アシスタントティーチャー３名　受付け，もぎり業務，および案内・解説業務の補助

開館日は，ミュージアムティーチャー（以下ＭＴと略す。）２名，アシスタントティーチャー（以下ＡＴと略す。）２名が勤務する体制をとり，ＭＴはそれぞれ歴史劇場，常設展示室に常駐し案内・解説業務にあたった。

●ＭＴの案内・解説業務について

・歴史劇場での案内・解説

ここでは，国指定史跡橋牟礼川遺跡の学史と概要を約18分間の映画と遺構模型によって紹介している。ＭＴは，映画終了後，古墳時代，平安時代の２つの遺構模型の解説を行い，橋牟礼川遺跡の全体像の理解を促し，常設展示室への導入とする。

歴史劇場での解説業務の流れ

「ひらけ大地のタイムカプセル」上映　約18分
古墳時代模型解説　約３分
平安時代模型解説　約３分

・常設展示室での案内・解説

第３展示室は古墳時代の集落を復元し，照明と音響によって古代の１日を疑似体験できる施設である。ここでは，住居内に再現した生活用品等に自由に触れながら当時の生活・文化についての関心と理解を促すことをねらいとしている。従って，ＭＴの業務も第３展示室での「集落の紹介」を中心とした案内・解説を実施している。

照明・音響演出には，環境音のみの６分間の演出（Ａパターン）と集落内に配置したイヌ，ニワトリ，カラスの動物たちが擬人化して集落の紹介をする約８分間の演出（Ｂパターン）がある。通常，30分ごとにいずれかの演出を自動的に行うようにコンピュータ制御しているが，見学者の年齢層に応じた臨機応変な演出も可能である。小学生以下の児童には，Ｂパターン演出が人気が高い。

ＭＴは，これらの環境演出の補助的な解説，復元された様々な道具の使い方について見学者といっしょにものに触れながら説明を行っている。

●解説業務の効果と展望

ＭＴ制度によって，日常的に見学者に対し展示解説・案内をすることが可能となった。館内アンケートの結果も80％以上の人々が「わかりやすかった」との回答を示し，相乗効果として展示の内容についてもより深い理解が得られるとの声も多く聞く。ＭＴの解説業務が単なる館内案内に陥らず，見学者の展示理解の援助や展示物の見方・視点を誘導するナビゲーター的な役割を果たすことが，教育普及活動の基礎的作業の一つになるものと思われる。今後より活動を充実させるために博物館教育普及に関する研究会を定期的に開催し，その中で現在の常設展示を活用した教育プログラムの開発等新たな展開が望まれている。

〈ワークシートの作成〉

●ワークシートの内容

第２展示室，第３展示室，第４展示室の３ヶ所にワークシートを設置した。以下にその内容を記す。

・第２展示室ワークシート

タイトル「道具袋の中身はな～に？」

内容とねらい　旧石器時代の石器展示のコーナーに設置した。機能によってもののそれぞれ形態が異なるということを３種類の石器を例に表現した。

・第３展示室ワークシート

タイトル「タイムスリップ！古代体験ゾーン」

内容とねらい　復元した集落をイラスト地図にして集落内のなまざまなものの名称を問いかける形をとった。シートを見ながら集落の様子の全体像をつかむことができるよう配慮した。

・第４時展示室ワークシート

タイトル「君のルーツは隼人なのか?!」

内容とねらい　古代隼人を象徴する遺物として，外来文化の代表に「隼人の楯」を，伝統文化を受け継ぐものとして「甕形土器」を取り上げ，隼人文化の一端を知る手掛かりとした。

●ワークシートの活用と今後の展開

各シートは小学生を中心によく利用されている。内容は，時遊館のキャラクターであるタイム博士がクイズ形式で問いかける比較的簡単なものである。児童・生徒の団体見学の場合は，第３展示室であれば，あらかじめシートを手渡し，自主的に復元集落内に散策させることでより興味を促すよう務めた。

ただし日常的には，シートがどの程度活用されたのかそのリサーチが困難な面がある。また，クイズ形式をとっているが，展示以外の形で回答を用意していないため，正解か否かといった点を確認できないといったデメリットもある。

今後，ＭＴによるフォローアップも含め，検討が必要である。

〈常設展示におけるクイズ方式〉

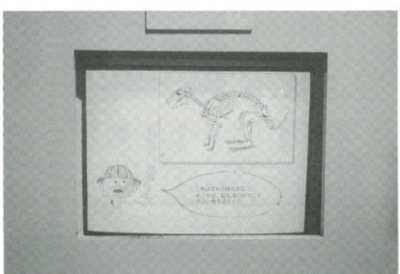
幅広い入館者の人々に，古代に関する興味と学習意欲を促す方法として，クイズ方式も取り入れている。

●「動物Ｑ＆Ａ」…パソコンに指でタッチすることで画面上に展開する動物に関するクイズに答えていく方法。幅広い年齢層に使用されており，クイズの答えが間違っていたら館内の常設展示に答えが隠れており，復習学習も可能である。

●「土器パズル」…第２展示室の入り口に設置されている。

スイッチを押すと60秒の時間がカウントダウンされ，その間は土器の本体の中の電磁石が作動し，パズルピースである土器片が正しい場所では土器本体にくっつく様になっている。特に子供達が利用して，遺跡から出土している土器片も接合して本来使用していた状況に復元できることと，土器についての学習意欲を促せる。

ワークシート



動物Q＆A

土器パズル

(12) 『ＣＯＣＣＯだより』の発刊

情報誌『ＣＯＣＣＯだより』における広報

指宿市考古博物館においては，市民もしくは市外の多くの方々の生涯学習の場として博物館を位置づけさせると同時に，博物館での行事や催しの開催の情報提供と，学習意欲や目的を個人が自主的にかつ積極的に行うよう各種情報誌を制作し広報している。

〈ＣＯＣＣＯだより〉

指宿考古博物館が月１回出版し市内に配布している催し物や館内で行われる事業のお知らせ広報紙である。８月号以降現在２月末現在で７号を数える。

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　お知らせ版　第１号　平成８年８月１日発行

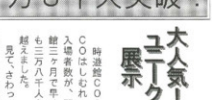
来館者早くも３万８千人突破！

大人気！ユニーク展示

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの入場者数が，開館三ヶ月で早くも三万八千人を越えました。見て，さわって楽しめる体験型の新しい展示の試みが人気を呼んでいます。これから夏休みに入って，お客さんの数は，ますます増えそうです。ご記録は，一年間開館した横浜市歴史博物館に並ぶものです。関係者からも注目されています。

考古学セミナー開催

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは，八月から毎月一回，「はるかなる歴史ロマンへの誘い」と題して，考古学セミナー（公開講座）を開催します。南九州から古代中国，地中海の文化に広がるまで，おもしろく，そしてわかりやすく歴史の謎に挑みます。夏休みの自由研究にご家族，友達をさそって気軽にご参加下さい。受講料は無料です。



「お台場開発って」ＣＯＣＣＯはしむれを訪れた鹿児島幼稚園の子供たち

セミナーの予定

第１回　八月十日（土）午後三時から四時
講師　上村俊雄氏（鹿児島大学教授）
講座名「熊襲・隼人世界の人々とその文化」

第２回　九月十四日（土）午後三時から四時
講師　渡辺芳郎氏（鹿児島大学助教授）
講座名「数次年の時をこえて古代中国からのメッセージ」

第３回　十月五日（土）午後三時から四時
講師　中村明蔵氏（鹿児島経済大学教授）
講座名「大和朝廷と南九州古代隼人の謎に迫る」

十一月以降の開催予定につきましては，次号のＣＯＣＣＯだよりでお知らせします。

時遊館
ＣＯＣＣＯ
はしむれ
指宿市十二町
２２９０

発行
指宿市
教育委員会

ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ一階の歴史劇場では，毎月二回第二，第四土曜日の夕方七時から，なつかしの名作映画の上映会を開催します。

時遊館にキングコング出現

一九二〇年代から一九五〇年代の映画の最盛期に撮られた名作の数々。一五〇インチの大型画面で繰り広げられるドラマをお楽しみ下さい。なお入場料は，大人五〇〇円，大学生・高校生四〇〇円，小学生三〇〇円です。

第１回目は，モンスター映画の傑作キングコングです。

上映予定作品

八月十日　キングコング
八月十五日　フランケンシュタイン
八月二十四日　チャップリンのキッド

九月十四日　モロッコ
九月二十八日　ガス燈
十月十二日　禁じられた遊び
十月二十六日　第３の男

ご来場をお待ちしております。

みんなの声

このコーナーでは、ＣＯＣＯＯはしむれを訪れた皆さんのご意見・ご感想を紹介していきます。

「ぼくは時遊館ＣＯＣＯＯはしむれに来て、教科書や資料でみた事を生で見たりして、縄文、弥生時代にもどったような気がしました。そして、昔の住居を作っていたので、これが特にびっくりした。」（鹿児島市桜丘東小学校6年生　丸山健吾君）

「古代人の服をまねて、さっそく作ってみたいと思います。次回は子供とともに訪れたいと思います。」（指宿市大牟礼　徳留逸子さん）

ＣＯＣＯＯはしむれに「ご意見箱」を設置しました。市民の皆さんのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

ＣＯＣＯＯまんが道場

ＣＯＣＯＯまんが道場では、古代の暮らしのいろいろな場面を一コマまんがでご紹介します。今回は「落とし穴」。縄文時代によく見られるこの狩りの跡は、国分の上野原遺跡でも、たくさんの落とし穴が発見されました。

指宿の古代人もきっと、せっせと落とし穴を掘っていたと思われますがまだ見つかっていません。たくさん掘りすぎて間違って落ちた人もいたかもしれません。野生の動物を捕まえるのは大変な仕事だったのです。

作品募集

ＣＯＣＯＯまんが道場では、ユニークな作品を募集しています。紙面でご紹介できなかった作品につきましてはＣＯＣＯＯはしむれ一階ロビーに掲示させていただきます。皆様ふるってご応募下さい。

応募条件

ＣＯＣＯＯまんが道場　Ｂ５サイズの画用紙、またはケント紙をご使用下さい。一〇〇文字前後の作品解説をつけ、住所、氏名、年齢、電話番号をお書き添えの上、時遊館ＣＯＣＯＯはしむれまで郵送、またはご持参下さい。なお、印刷の都合上、モノクロ作品に限らせていただきます。締切は、八月十六日（金）、必着です。

シルバー美術展開催

洋画、日本画など二五三点を展示

八月四日（日）から十一（日）までの八日間、ＣＯＣＯＯはしむれで、第7回いぶすきシルバー美術展を開催します。油絵、水彩画、ちぎり絵、版画など様々なジャンルの作品二五三点をご紹介します。

第6回最優秀賞「神秘の大スフィンクス」　四枝新一氏作

円熟した作品の数々をご堪能下さい。入場は無料です。

古代こぼれ話

太宰府や平安京などの遺跡では古代のトイレの跡が見つかっています。紙が貴重品だったこの時代、人々は竹や木のへらでお尻をふいていました。慣れないとちょっと痛かったに違いありません。古代のトイレからは化石になった糞が見つかることがあります。詳しく調べると古代人の栄養状態や健康状態を知ることが出来る貴重な資料なのです。

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

９月号

盛況　指宿シルバー美術展

三千八百人が訪れる

八月四日から開幕していたシルバー美術展は、のべ三千八百人の来館者を迎え、十八日に閉幕しました。当初は、十一日に閉幕の予定でしたが、好評につき一週間会期を延長しての開催となりました。

シルバー美術展は、高齢者社会の生きがいづくりを先取りした美術展として、六十歳以上の方を対象にした県内唯一の公募展です。訪れた皆さんからは、「作品の多さとさに驚きました」との声も多く聞かれました。

古代にチャレンジ

三十一人の子供たちが古代住居で宿泊体験

八月十九日から二十日にかけて国指定史跡橋牟礼川遺跡公園で「古代にチャレンジ」と題し、体験学習会を実施しました。勾玉づくりや古代の料理に挑戦したあとは、公園内で復元された竪穴住居で宿泊体験。はじめての体験に戸惑いぎみだった子供たちも美しい星空のもと、古代人になりきっていたようです。参加した令和泉小学校五年生の西村菜央ちゃんは「古代食をまた家でも作ってみたい」との感想。また、勾玉づくりもみんなに人気があったようです。

鹿児島県人のルーツ　熊襲・隼人を語る

考古学セミナー開催

第一回の考古学セミナーが、鹿児島大学の上村俊雄先生をお迎えして開催されました。会場の歴史劇場には、百四十五人の参加者の皆さんが詰め掛け超満員。「熊襲・隼人世界の人々とその文化」と題された講座では、県内各地の遺跡から出土した隼人の生活の道具やお墓の形態、人骨の様子などがスライドで紹介され、当時の人々の暮らしぶりが詳しく語られました。

セミナーに参加した皆さんは、出土品や各地の遺跡の様子などから思いい思いの隼人像を描き、歴史のロマンに思いを馳せていたようです。九月、十月のセミナーの予定は、次のとおりです。いずれも、土曜日の午後３時から４時まで、ＣＯＣＣＯはしむれで開催します。

九月十四日　数千年の時をこえて古代中国からのメッセージ

講師　渡辺芳郎先生（鹿児島大学助教授）

十月五日　「大和朝廷と南九州古代隼人の謎に迫る」

講師　中村明蔵先生（鹿児島経済大学教授）

ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

今月のＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は、恋愛映画の名作『モロッコ』とサスペンス映画の古典『ガス燈』です。

九月十四日（土）『モロッコ』

二十八日（土）『ガス燈』

いづれも午後七時からの上映です。なお、当日は午後一時半まで夜間開館を実施しています。常設展示見学料で映画もご覧いただけます。みなさまお誘いあわせの上、秋の夜長をＣＯＣＣＯはしむれでおくつろぎ下さい。お待ちしております。

インターネット開設

ＣＯＣＣＯはしむれを世界に紹介

ＣＯＣＣＯはしむれでは、インターネットにホームページを開設しました。ページ数は三十四ページ。（半分は英文）常設展示や野外展示の内容をはじめ、展示の目玉を映像（カラー写真）で紹介しています。是非、のぞいてみて下さい。アドレスは、ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｍｉｎｃ．ｏｒ．ｊｐ／ｃｏｃｃｏです。

秀作美術展開催

芸術の秋先取り

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは、九月五日（木）から十一日（水）までの七日間、秀作美術展を開催します。絵画、彫刻、書、デザインなど県内のすぐれた作家の優秀作品二十五点が展示されます。芸術の秋、美しい作品の数々をお楽しみください。入場は無料です。

「風の行方」玉利真子作

よみがえる薩摩の美

秋季企画展
『暮らしの中の薩摩焼展』
十月より開催

十月一日から十月三十一日までCOCCOはしむれ二階特別展示室で、秋季企画展『暮らしの中の薩摩焼展』を実施します。黒薩摩を中心に県内各地の窯の作品を一堂に展示。薩摩伝統の美と薩摩焼の歴史を分かりやすくご紹介します。古くは、一八六七年のパリ万国博覧会にも出品され、日本の陶芸文化を代表する焼き物の一つに数えられる薩摩焼。この秋、COCCOはしむれでふるさとの技と美を堪能してみませんか。入場は無料です。

COCCOまんが道場

作品募集のお知らせ

COCCOまんが道場では、ユニークな一こまマンガを募集しています。B5サイズのケント紙または画用紙をご使用下さい。住所、氏名、年齢、電話番号をお書き添えの上、COCCOはしむれまで郵送下さい。なお、印刷の都合上モノクロ作品に限らせていただきます。締切は、九月二十日（金）です。

感動！オーストラリア

ロックハンプトンホームステイ

八月十日、オーストラリアのロックハンプトン市にホームステイした中高生二十五名が、無事帰国しました。七月二十二日から二十日間にわたたって、オーストラリアの文化を肌で感じ、日本との違いを体験してきました。これからの生活にきっと生かされることだと思います。

写真は、ホストファミリーとのダンスを楽しんでいるところです。来年は、あなたも参加してみませんか。

ジャンクアタック！

中高生バレー ふるさとの集い

八月十三日、市体育館において中高生二百人が参加して、熱戦が行なわれました。中高生がいっしょになってバレーボールに汗を流し、異年齢間の交流を深め、楽しい一日を過ごしました。成績は、次のとおりです。優勝小牧Aチーム準優勝仮屋チーム来年も頑張って下さい。

古代こぼれ話

ハンバーグといえば、子供たちに人気のメニューの一つ。現代のハンバーグは、欧米から伝えられたものですが、なんと縄文時代の日本にもあったのです。鹿やイノシシの肉にクルミなどの木の実を混ぜて焼いたものですが、化石状になって遺跡から見つかった例があります。調味料には、塩やエゴマ、山椒等を使っていたのではないかといわれています。こんがり焼けたお肉と木の実。美味しい香りがしてきそうです。

みんなの声

このコーナーでは、COCCOはしむれを訪れた皆さんのご意見・ご感想を紹介していきます。

「ここの館の名前の由来がおもしろいと思いました。中学生にもいい勉強になるのではないかと思います。」（福岡県直方市穂田敏俊さん）

COCCOは、イタリア語で「秘蔵っ子」という意味です。横井礼川道様が「日本のボンペイ」と呼ばれていることから、イタリア語を使いました。指導の文化施設の秘蔵っ子とかわいがられるよう頑張ってまいります。

COCCOだより
指宿市考古博物館「時遊館COCCOはしむれ」お報せ版
10月号

来館者5万人突破!

九月八日（日）、COCCOはしむれに五万人目の入館者をお迎えしました。五万人目のお客様は、吾平町にお住まいの諏訪沙織さん。四万九千九百九十九人目の黒木摩子さん（宮崎在住）、五万一人目の藤村義男さん（指宿市内）と三人でくす玉をわり、5万人目を祝いました。田原迫市長からの記念品の授与のあと、いっしょに来館されていた職場の皆さんや古代人に扮した職員とにぎやかに記念撮影。諏訪さんは「びっくりしたけどいい思い出になりました。とても楽しい博物館でした。」との感想。次は十万人を目指して職員一同頑張ってまいります。

黒薩摩の美しさに酔う

今よみがえる薩摩の伝統

薩摩焼の伝統と歴史を解き明かす「暮らしの中の薩摩焼展」が開会しました。黒薩摩にスポットを当てた県内でも珍しい展示会です。ご家庭で、街のお蕎麦屋さんで何気なくみかけていた黒薩摩。戦国時代より息づく薩摩伝統の美に秘められた謎を解き明かします。入場は無料です。この機会を是非お見逃しなく。皆様のお越しをお待ちしております。期間　平成八年十月一日から三十一日まで

COCCO名画鑑賞会

好評『モロッコ』ラストシーンに思わず拍手

九月十四日に上映された『モロッコ』には、市内外から七十六名の映画ファンがつめかけました。ラストシーンでは、場内から思わず拍手が沸き上がるほど。鹿児島市内からみえたある男性は「昭和十七年にこの映画を観て以来、もう一度観たいと思っていました。今日は感動しました。」との感想。青春の思い出がよみがえった一夜だったようです。さて、今月の名画は、アカデミー賞外国映画賞、ベネチア映画祭グランプリに輝く不朽の名作『禁じられた遊び』とカンヌ映画祭グランプリ受賞、映画史上最も有名なあのラストシーンが再び『第3の男』です。美しいギターが奏でる音楽も忘れがたい印象を残します。芸術の秋、心が震える一夜をCOCCOはしむれでお過ごし下さい。

十月十二日（土）『禁じられた遊び』、十月二十六日（土）『第3の男』、いづれも午後七時からの上映です。

禁じられた遊び

古代中国の謎に挑む白熱!考古学セミナー

九月十四日の考古学セミナーには、約九十名の参加がありました。テーマは、「数千年の時を越えて　古代中国からのメッセージ」。鹿児島大学の渡辺先生をお迎えし、約五千年前の古代中国文化について最新の考古学成果を紹介していただきました。予定時間を過ぎても質問の声が次々にあがる会場は歴史ファンの熱気でいっぱいでした。今月の予定は、十月五日（土）午後3時『大和朝廷と南九州　古代隼人の謎に迫る』講師中村明蔵先生をお迎えして私たちのルーツ古代隼人族のたどった歴史を探ります。

遺跡の不思議に答えます！

Q.なぜ年代がわかるのか？

「これは四千年前の土器です。」と土器を取り上げ説明する考古学者。不思議に思いませんか？『なんで、そげなことがわかっとよ？』『来館した方々からもっともよく聞かれる質問、「なぜ何年前とわかるのか」その方法をご紹介します。

さて、空気中とわたしたち生物の体の中には炭素14という原子（小さな小さな粒）が常に一定の割合で含まれています。生物が生きている間は、空気中から炭素を取り入れているのでその量は、一定です。ところが、生物が死ぬと炭素を取り入れることができなくなるため、生物のからだの中にあった炭素14は、ごくわずかな放射能を出しながら減っていきます。減るスピードは、約5730年で半分になると推定されています。例えば、遺跡の地層から植物の化石が見つかり、その中の炭素14がどのくらい減っているのかその割合を調べると、何年前にその植物が死んだのかを逆算することができます。すると植物が入っていた地層の年代がわかるので同じ地層から見つかった土器の年代も知ることができます。文字のない時代の出土品については、この研究成果の積み重ねで年代を推定してきました。この方法は一九四六年アメリカのシカゴ大学のビリー博士によって実証されました。この研究はノーベル物理学賞を受賞しました。この他、年号の入った鏡やお金といっしょに発見された出土品についても年代を推定できますし、指宿のように開聞岳の火山灰を利用して年代を推定する方法など様々な年代測定法があります。

COCCOまんが道場

「釣り」といえば人気レジャーの一つですが、いったいいつごろから人間は釣りをするようになったのでしょうか？ヨーロッパでは、数千年前の青銅器時代の木製の釣り針が発見されています。日本では縄文時代のはじめごろ、約八千年ほど前の釣り針が神奈川県の夏島貝塚から見つかっています。これは、動物の骨を利用した骨製の釣り針だったようです。橋牟礼川遺跡では、約千五百年前の古墳時代の釣り針が見つかっていますが、これは、鉄製です。海の幸は大切なタンパク源。釣りは生活に欠かせない切な技術だったのかもしれません。さて、人間はどこから釣りを思い付いたのでしょう。一説ではモズがトカゲや小魚を小枝にさしたことからヒントを得たのではとの説もあります。ところで、古代にも「釣った魚になんとやら・・」といった太公望がいたとかいないとか。これも歴史の謎の一つです。

古代こぼれ話

「この紋所が目に入らぬか」有名なドラマ水戸黄門の角さんの台詞です。実は、この水戸黄門様は、江戸時代元禄五年に日本で最初に発掘調査をした人物です。上侍塚、下侍塚と呼ばれる前方後円墳を発掘し、古墳の副葬品は再び元の場所に埋め戻されたことが『那須記』という古文書に記されています。現代では、全国で年間約一万件の発掘調査がおこなわれています。古墳の調査もありますが、盗掘を受けていて貴重な文化財が盗まれている場合も少なくありません。調査の後、元の場所に出土品を戻した黄門様はやはりただ者ではなかったようです。

ＣＯＣＣＯだより

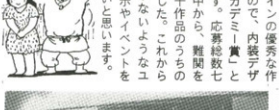
指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

１１月号

ディスプレイデザイン賞奨励賞を受賞

美しさとユニークさを兼ね備えた斬新な展示に注目が集まる。

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの常設展示が、平成８年度ディスプレイデザイン賞の奨励賞を受賞しました。この賞は、その年の空間環境系デザインの優秀な作品に贈られるもので、内装デザイン業界の「アカデミー賞」とも呼ばれています。応募総数七百三十二作品の中から、難関をくぐり、奨励賞十作品のうちの一つに選ばれました。これからもこの賞に負けないようなユニークな企画展示やイベントを実施していきたいと思います。



第二展示室　人気コーナーの一つ、縄文人と弥生人が現代のキッチンにタイムスリップ。お互いの時代の食事が再現されている。

芸術の秋、文化の秋

平成８年度指宿市文化祭が開催されます。日程と会場は次のとおりです。

芸術文化作品展

日時　十一月九日、十日
午前九時から午後四時三十分
会場　指宿市総合体育館

芸能舞台発表

日時　十一月九日（推進大会学習発表）
午後一時三十分～
十一月十日（芸能発表）
午前九時三十分開場
会場　市民会館ホール

文芸大会

日時　十一月七日
午後二時～
会場　市立図書館

俳句大会

日時　十一月九日
午後一時～
会場　市民会館

川柳大会

日時　十一月十日
午後二時～
会場　市体育館

皆様のご来場をお待ちしております。

指宿市生涯学習推進大会開催

■社会教育だより■

「いつでも、どこでも、自主的に楽しく学べる」生涯学習時代。市民の皆様の学習の成果や意見発表、西指宿中学校の皆さんによる囃楽演奏や木戸孝先生の講演など盛沢山のプログラムで平成８年度指宿市生涯学習推進大会が開催されます。

日程と主な内容は次のとおりです。皆様のご来場をお待ちしております。

大会テーマ
『まなび』でひらこう　南のふるさと

大好評　考古学セミナー

地元指宿出身　西中川駿先生来指！

今月の考古学セミナーは、鹿児島大学農学部教授の西中川先生をお迎えして開催します。「古代馬、古代牛は指宿にもいた？！我が国の馬と牛のルーツを探る」と題し、古代の牛馬の謎とルーツに迫ります。「池月伝説」にあるように指宿地方は名馬の産地だったのでしょうか？入場は無料です。この機会、お聴きのがしなく！

日時　十一月九日午後３時から４時まで
会場　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　一階市民ギャラリー

日時　十一月九日（土）午後一時三十分～四時三十分
会場　指宿市民会館
学習発表　午後一時三十分～
体験発表　午後二時三十分～
講演　講師　木戸孝先生（元鹿児島県文化協会常任理事）
演題「実りある生涯を生きるために」

食欲の秋

ひっすてっぷあっぷに 新メニュー登場！

COCCOはしむれの二階にある喫茶すてっぷあっぷ。「古代懐石」と銘打った一風かわった懐石料理が大評判。赤米のおにぎりにそばクレープと古代人も食べていた日本古来の材料を現代風にアレンジ。十一月からは、この古代懐石に加え「古代の実り」という新メニューも登場します。サツマイモと菱の実をトッピングしたかわいらしいメニューです。食欲の秋、是非一度ご賞味ください。

古代懐石・・・五百円
古代の実り・・・三百円

COCCO名画鑑賞会

十一月、十二月のCOCCO名画鑑賞会は次のとおりです。時間はいづれも午後七時からです。

日付	曜	上映作品
11月23日	土	三文オペラ
12月7日	土	幌馬車

■社会教育だより■

新成人のみなさまへ

平成九年新成人調査について

市教育委員会では、往復ハガキによる平成九年の新成人対象者の調査を行なっています。ハガキの届いていない方でも出席できますので、左記までご連絡下さい。

一、成人式　平成九年一月五日(日)
一、新成人該当者
　昭和五十一年四月二日から
　昭和五十二年四月一日まで
一、連絡先
　指宿市教育委員会社会教育課
　成人式係電話二三一五一〇〇
　(COCCOはしむれ内)

第四回　詩のつどい

朗読会のお知らせ

鹿児島県詩人協会では、県民文化祭にあわせて、詩の朗読会、講演会等を実施いたします。

日時　十一月十日午後一時から四時
会場　COCCOはしむれ
朗読　「鹿児島県詩集　第四集」の自作品の朗読など
講演　「詩人藤田文江のこと」
　村永美和子(県詩人協会副会長)

参加は無料です。
お問い合わせ先　二三一二三一一
指宿竹元病院内　県詩人協会

COCCOまんが道場

実りの秋になりました。古代では栗やドングリは貴重な栄養源。縄文時代では、これら木の実が主食だったと考えられています。中にはあく抜きをしないと渋くて食べられないものもありますが、水にさらしたり土器で何度も煮てあく抜きをしたと考えられています。縄文時代に急速に土器が発達した理由の一つは木の実の加工のためとも言われています。秋の森でのピクニック。危険は栗のいがだけではないようです。

にぎわいのうちに開幕 暮らしの中の薩摩焼展

十月一日より開催していた『暮らしの中の薩摩焼展』が十月三十一日に終了しました。県内で約十年ぶりの本格的な薩摩焼の展示会とあって、期間中約三千人の見学者が訪れ、薩摩焼に対する関心が高いことがうかがわれました。ご来場頂きました皆様、ありがとうございました。

古代こぼれ話

長寿の国日本。今や人生八十年の時代となりましたが、縄文時代はどうだったのでしょうか。

遺跡から発見される人骨の研究から、縄文人の平均余命は、二十五歳前後ではないかと推定されています。医学の未発達な古代では、新生児の死亡率が高くその結果、平均余命も短いのです。平均余命二十五歳ということは、百人生まれた赤ん坊が、大学卒業のころには、約五十名になっているということです。縄文時代の土偶の多くは、妊婦をかたどったものですが、土偶には、たくさんの子供を産み、丈夫に育つようにと切実な願いが込められていたのかもしれません。

トピックス

有村かおり名誉館長来指

十一月二日(土)柳田小学校開校百周年記念事業として、TBSテレビアナウンサーでCOCCOはしむれの名誉館長有村かおりさんの講演会が、同小学校体育館で開催されます。また、十一月十六日(土)には、COCCOはしむれにお見えになります。

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

１２月号

有村かおり名誉館長来館
ＣＯＣＣＯはしむれを全国にＰＲ

十一月十七日（日）、ＴＢＳテレビのアナウンサーとして活躍中で、ＣＯＣＣＯはしむれの名誉館長でもある有村かおりさんが、名誉館長の委嘱状交付式のために来館されました。「指宿には素晴らしい宝物ができました。全国に誇れる施設だと思います。これからも積極的にＰＲ活動を行い、たくさんの人に紹介していきたいと思います。」と有村さん。東京都のかごしま遊楽館などで行なわれるイベントでは、ＣＯＣＣＯはしむれのスタッフジャンバーに名誉館長の名刺をもってＰＲ活動の一役を担っていただきます。

市長から名誉館長の委嘱状が手渡されました。

ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

十二月のＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は、ハリウッドが世界興行史上初めて大成功を収めた第一級の西部劇大作『幌馬車』と、クリスマスの夜、人生に絶望した一人の男の前に一級の天使が現れて・・・、人生の素晴らしさをファンタジックに描いた名作『素晴らしき哉、人生』です。日時は次のとおりです。みなさまのご来場をお待ちしています。

『幌馬車』十二月七日（土）午後七時～

『素晴らしき哉、人生』二十三日（土）午後三時～

古代の息吹が蘇える

敷領遺跡発掘調査始まる

弥次ケ湯公営住宅の建替えに伴う敷領遺跡の発掘調査がはじまりました。今回は約一〇〇㎡の調査で、来年３月末までの予定です。昨年実施した確認調査では平安時代の田んぼの跡が見つかりましたが、今回は畑の跡が発見されました。詳しい調査はこれからですが、弥次ケ湯地区の古代の歴史が少しずつ明らかになろうとしています。

指宿市成人式のお知らせ

市では、新成人に成人としての責任と自覚をうながし、住み良い指宿市づくりに参加する意欲を高めるため、次の日程で成人式を実施いたします。

日時　一月五日（日）

会場　指宿市民会館

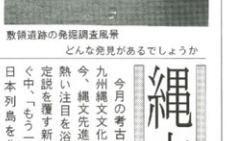
日程　受付　十三時

アトラクション　十三時四十分

式典　十四時三十分

該当者昭和五十一年四月二日～昭和五十二年四月一日までに生まれた方

申し込みをされていない方でも、当日会場で受付いたします。なお、新成人を励ますために多くの市民の皆様やご家族の方の参加をお願いします。申し込みの詳細については市社会教育課までお問い合わせください（電話　二三一五二〇〇　ＣＯＣＣＯはしむれ内）



敷領遺跡の発掘調査風景

どんな発見があるでしょうか

縄文の謎に挑む

今月の考古学セミナーは、南九州縄文文化の謎に挑みます！今、縄文先進地として全国的に熱い注目を浴びている鹿児島。定説を覆す新たなる発見が相次ぐ中、「もう一つの縄文文化」が日本列島を北上した可能性が・・・はるか太古の鹿児島でいったい何が起こっていたのか。

講師は、南九州縄文文化研究会で第二十回勝森栄一賞（考古学会の直木賞と言われる）受賞の新東晃一先生（県立埋蔵文化財センター課長補佐。この機会お聴きのがしなく！

日時　十二月七日（土）午後三時から四時まで（入場無料）

会場　ＣＯＣＣＯはしむれ

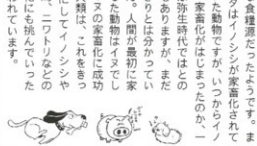
演題　「花開く南九州の縄文文化」

特集 その1
よみがえる古代ローマ文明
ポンペイ

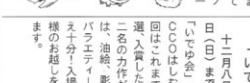
大正時代以来、橋牟礼川遺跡は『日本のポンペイ』と呼ばれてきましたが、果たして"ポンペイ"とはどんな遺跡なのでしょう。このコーナーでは、今月と来月の二回にわたり、本場イタリアのポンペイ遺跡を紹介します。

上：ポンペイを訪れる観光客
下：ポンペイ全景。手前に円形闘技場が見える。

ポンペイ遺跡は、ナポリ市の南、約三十kmにあるローマ時代の古代都市遺跡です。西暦七十九年八月二十四日（日本ではちょうど弥生時代）のベスビオ火山の大噴火で、高い城壁に囲まれた約二十万坪の街が、一瞬にして軽石と火砕流に飲み込まれてしまいました。この大惨事は、当時まだ十七歳だった青年の二通の手紙によって後世に伝えられました。発掘調査は、一七四八年（日本では江戸時代）にはじまり、現在も一部行なわれています。厚い火山灰の下からは、神殿や大劇場、音楽堂、闘技場、中央浴場、選挙投票場、市民広場などの公共施設の他、パン屋や酒屋などの商店、個人の邸宅など古代都市がそっくりそのまま現れたのです。



道路からはよくイノシシの骨が見つかります。マンガのように"仲良く添い寝"することはなかったでしょうが古代人にとってイノシシは貴重な食糧源だったようです。また、ブタはイノシシが家畜化されてうまれた動物ですが、いつからイノシシの家畜化がはじまったのか、一説には弥生時代ではとの見解もありますが、まだはっきりとは分かっていません。人間が最初に家畜にした動物はイヌでした。イヌの家畜化に成功した人類は、これをきっかけにしてイノシシや牛、馬、ニワトリなどの家畜化にも挑んでいったと言われています。



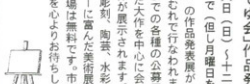
COCCOまんが道場

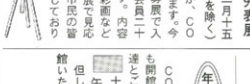
美術展のお知らせ

美術グループ「いでゆ会」作品発表展

十二月八日（日）～十二月十五日（日）まで（但し月曜日を除く）

「いでゆ会」の作品発表展が、COCCOはじめとして行なわれます。今回はこれまでの各種の公募展で入選、入賞した大作を中心に会員二十二名の力作が展示されます。内容は、油絵、彫刻、陶芸、水彩画などバラエティーに富んだ美術展で見応え十分！入場は無料です。市民の皆様のお越しを心よりお待ちしております。





社会教育だより

同和問題に正しい理解と認識を！

県では、十二月四日から十日までの一週間を「同和問題啓発強調週間」と定め、いろいろな取り組みを計画しています。同和問題とは、封建時代の身分制度に基づく差別政策の影響が今日もなお生き続け、同和地区に生れ育ったという理由だけで基本的人権が著しく侵害されているという重大な社会問題です。これまでの努力により改善された面もありますが、心理的差別の解消にはまだまだ不十分な面がいっぱいです。お互いの人権を尊重し、同和問題を正しく理解・認識し、みんなの力で差別のない明るい社会を築くよう努力したいものです。

年末年始も開館しています！

COCCOはしむれは年末年始も開館します。ご家族連れで、お友達とごいっしょにおいでください。

十二月二十八日～一月五日

午前九時～午後五時まで

但し、十二月三十日（月）は、休館いたします。

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

１月号

新春特別講演会開催

古代ローマ ポンペイ埋没の 謎は 解かれたのか

古代ローマ史研究の第一人者、浅香正先生来館！

ポンペイ市民の暮らしぶり　映画『ポンペイ最後の日』より

古代ローマに栄えた都市ポンペイ。突然の火山噴火は、高度に発達したこの文明都市を一瞬にして埋め尽くしてしまいました。ポンペイとはいったいどんな都市だったのでしょうか。その日、人々は逃げることができたのでしょうか。今回、古代ローマ史の第一人者、同志社大学名誉教授で、ポンペイ学術調査隊員の浅香正先生を迎え、『ベスビウス火山とポンペイ』と題し講演していただきます。

日時　一月十九日（日）
会場　一階市民ギャラリー
研究発表　午後一時から
特別講演会　午後三時三十分から
聴講料　八百円

社会教育だより

おめでとう 新成人の皆さん

指宿市では、次の日程で成人式を実施いたします。申し込みをされていない方でも当日会場で受付いたしますので、是非ご参加ください。たくさんの新成人の皆さん、そして新成人を励ますために市民の皆様やご家族の方の参加をお待ちしています。該当者は、昭和五十一年四月二日～昭和五十二年四月一日までに生まれた方です。

日時　一月五日（日）
午後一時　受付
午後一時四十分　アトラクション
午後二時三十分　式典
会場　指宿市民会館
お問い合わせ先
ＣＯＣＣＯはしむれ内社会教育課
（電話二三一五二〇〇）

貴重な文化財を守ろう

一月二十六日は 文化財防火デー

昭和二十四年一月二十六日、法隆寺金堂が火事で消失する事件がありました。これをきっかけに、貴重な文化財を災害から守ろうと始まった活動が「文化財防火デー」です。指宿市でも、同日、橋牟礼川遺跡公園で、防火訓練を実施する予定です。市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

速報！敷領遺跡発掘調査

十一月から始まった敷領遺跡の調査も一ヶ月がたちました。平安時代の畑の他、古墳時代の竪穴式住居や掘立柱の建物跡などが見つかっています。また、約二千年前の弥生土器も発見されていることから、弥次ケ湯付近には、少なくともこのころから人が住んでいたようです。

『歩ろう会』に百二十名が参加！

魚見校区

平成八年度市青少年健全育成事業が十二月八日モデル地区の魚見校区で開かれました。小学生五十六名、中学生三十八名、大人三十六名は冬の魚見岳に挑戦し、約七ｋｍを完歩しました。頂上では、魚見岳の天狗にまつわるお話や開聞岳のお話を校区老人会中村会長さんから聞き、気持ちのよい汗をふきながらの有意義な時間を過ごしていました。

特集 その2
よみがえる古代ローマ文明 ポンペイ

厚い火山灰の下から現れた古代都市ポンペイ。人々や街の様子はどうだったのでしょうか。

ポンペイの都市計画

石畳の直線道路が碁盤の目のように並び、巨石やレンガ、漆喰で造られた様々な建築物。公共施設と住宅地区に区分され、給配管の上水道も完備されていました。石畳の道の右の縁石には、大理石のかけらが埋め込まれ、月明かりで反射して夜道の足下を照らすように工夫されていました。

ポンペイの街の地図

命をかけた戦い

円形闘技場で行なわれた剣闘士たちの命をかけた勝負は、ポンペイ市民の最高の娯楽で闘技場には約二万人の観客が押し掛けました。闘いに敗れた剣闘士の命を救うかどうかは観客の意志に任かされていて、人気のある剣闘士は負けても大抵は死なずに済みました。闘技場では剣闘士同志の対決の他、人間対猛獣、猛獣対家畜といった興行も行なわれていました。

剣闘士の戦いを描いたレリーフ

COCCOまんが道場

日本の国技「相撲（すもう）」。いつごろから相撲が行なわれていたのかはっきりとしていませんが、力士の姿をした埴輪や須恵器の飾りに相撲をとっている人形をつけたものなどがあるため、5世紀から6世紀ごろにはすでにあったと考えられています。記録に残っているものでは、西暦六四二年、外国からきた使者を相撲をとって見せてもてなしたと「日本書紀」に記されています。また、西暦八八二年には、宮廷の庭で、大隅の隼人と薩摩の隼人が相撲をとって、大隅の隼人が勝ったとの記録も残っています。もともと相撲は豊作や五穀豊穣を祈って奉納に捧げる行事として始まったと言われています。平安時代には、七夕祭りの行事の一つとして天皇の前で行なわれていました。見て楽しむ相撲になったのは江戸時代からです。さて、大隅の隼人と薩摩の隼人の大一番、勝ったのは大隅の隼人でした。その時の決り手はいったい何だったのでしょうか。

市内のCOCCOはじまれイベント案内カレンダー

元日　映画会「モロッコ」
二日　映画会「ガス燈」
三日　映画会「禁じられた遊び」
四日　映画会「自転車泥棒」
映画会は、いづれも午後三時からで、常設展示入場料金が必要です。（大人五百円、大・高校生四百円、小中学生三百円）
十一日　考古学セミナー「アジアに見る地中海文化」午後3時から（無料）
ミニコンサート「クラリネット、尺八による演奏会」午後4時三十分から（無料）
十九日　特別講演会「ベスビウス火山とポンペイ」（聴講料八百円）

皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

２月号

よみがえるポンペイ

二千年前の古代都市に驚きの声！

一月十九日（日）に開催されたフォーラム「火山災害と人類」に約六十名の参加がありました。午後三時二十分から始まった特別講演会では、浅香正先生（同志社大学名誉教授、古代学研究所教授、ポンペイ学術調査隊員）がローマ時代の古代都市ポンペイについて、約百枚のスライドを紹介しながら説明がありました。参加者の一人、鮎川哲さん（加世田市在住、公務員）は「二千年も前に、劇場や闘技場、公衆浴場まであったことに驚きました。そしてその町を一瞬にして埋めた火山噴火の恐ろしさも感じました。」と感想を語ってくれました。

火砕流に埋もれた人の石膏型

特別講演会のようす

ニューイヤーコンサート開催♪

一月十一日、ＣＯＣＣＯはしむれ一階ロビーで、クラリネットと尺八演奏、テノール独唱によるミニコンサートが開かれました。約百三十人が詰めかけた中、美しいメロディーが館内にこだまし、新春のひとときを彩りました。

ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

二月のＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は下記のとおりです。当日は午後九時まで夜間開館しています。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。なお、映画鑑賞には常設展示入場料が必要となります。（大人五百円、大・高校生四百円、小・中学生二百円）

骨の秘密を教えます
骨が語る日本人

平成８年度最後の考古学セミナーは骨をめぐるミステリー

昨年八月から始まった考古学セミナーも今回でいよいよ最終回を迎えます。これまで六回の講座でのべ百人を超える参加がありました。平成八年度をもめくくるセミナーのテーマは「人骨」。古代から現代まで骨には人間の進化の歴史が刻まれているのです。わたしたち日本人の骨にはどんな謎が秘められているのでしょうか。聴講は無料です。たくさんの皆様の参加をお待ちしております。

日時　二月八日（土）　午後三時から四時

講師　小片丘彦先生（鹿児島大学歯学部教授）

演題　「骨の秘密教えます。骨が語る日本人」

□制服の処女□

二月八日（土）午後七時～

□オペラ座の怪人□

二月二十二日（土）午後七時～

COCCOまんが道場

冬は狩りの季節。縄文人はイヌをパートナーに鹿やイノシシなどを捕まえていました。古代のイヌは、いまの柴犬に似ていて、柴犬よりも少し小さかったようです。川内市の麦之浦貝塚からは、月の輪グマやサルの骨が見つかっていることから、これらの動物も食糧にしていたと考えられています。縄文人はどうやってクマを捕まえてのでしょうか。もし失敗したら・・・。

古代からの手紙

市民の皆様へ

寒さも厳しくなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年四月には、私たちの村（今では橋牟礼川遺跡と言うそうですが）を中心に時遊館ＣＯＣＣＯはしむれもオープンし、たいへんうれしく思っています。ところで、指宿には、他にもたくさんの遺跡がありますが、皆様に私たちの仲間の村（遺跡）のことも知っていただければと紙面をおかりした次第です。今回は今和泉校区の遺跡をご紹介します。ここには、指宿でも一番古い**小牧遺跡**があります。県内でも有名な遺跡で、約一万二千年前の村がありました。また、**宮之前遺跡**、**尾長谷迫遺跡**（**おばせざこいせき**）には、弥生時代の終わりから古墳時代頃の村があります。ここの人たちとはちょくちょく顔を合わせたので、狩りのことや米やあわなどの出来具合などいろいろと話をしたものです。**尾長谷迫遺跡**には鞴のいい鍛冶職人がいたので、鉄の道具の作り方なども教えてもらいました。実はまだ皆さんが知らない村もあります。中には私の親戚のいた村もあるようです。まだまだ、お話したいこともあるのですが、また次回に筆を譲りたいと思います。それではごきげんよう。

はしむれ村　ここまろ

がんばってます。子供会！

～子供会実践研究会のお知らせ～

○温湯子ども会（北中校区）
3月9日（日）温湯公民館

○中小路子ども会（南中校区）
2月下旬　中小路公民館

○麓下子ども会（西中校区）
3月20日（木）今和泉校区公民館

子ども会や地区ＰＴＡの活動について、もっと知りたい方、充実させたいと思っていらっしゃる方、ぜひこの機会をお見逃しなく！！三地区とも公開発表は午後からです。

二月の休館日

三日（月）、十日（月）、十七日（月）、二十四日（月）、二十六日（水）

詳しくは、当館までお尋ねください。
電話二三一五一〇〇

COCCO川柳道場

作品募集のお知らせ

ＣＯＣＣＯはしむれでは、古代や歴史を題材にした薩摩狂句や川柳を募集しています。お葉書でご応募ください。作品は、一人3点までとさせていただきます。作品は、ＣＯＣＣＯだよりにてご紹介させていただきます。

宛て先・お問い合わせ

市内十二町二三九〇
ＣＯＣＣＯはしむれ
文化係
電話　二三一五一〇〇

ＣＯＣＣＯだより

指宿市考古博物館「時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ」お報せ版

３月号

奈良・平安時代の建物群発見

古代の役所跡か？！敷領遺跡

発掘調査の進む敷領遺跡（弥次ケ湯地区）から、奈良～平安時代ごろの建物跡が発見されました。一辺が５ｍの高床倉庫は、県内で最も大きく、稲などの作物を保管していたと考えられています。加えて、掘立柱の建物が４棟見つかり、須恵器（すえき）と呼ばれる当時の器も多数出土したことから、古代の役所のような施設があった可能性が高まってきました。発掘調査は３月末まで行なわれます。

白い線で四角に囲まれたところが建物跡。丸く囲んであるのは、杭や柱の跡。

ＣＯＣＣＯ名画鑑賞会

３月のＣＯＣＣＯ名画鑑賞会は、下記のとおりです。当日は夜間開館しています。皆様のご来場をお待ちしています。なお、映画鑑賞には常設展示入場料が必要です。（大人５００円、大・高校生４００円、小・中学生３００円）

ベネチア国際映画祭
最優秀女優賞受賞

若草物語

３月８日（土）午後７時～

ＣＯＣＣＯにも春が来た！

フラワーデザインスクール作品発表会開催

３月７日～９日の３日間２階特別展示室でフラワーデザインスクール「アトリエＢＬＯＯＭ」の生徒作品発表会が開催されます。色とりどりの花々による美の競演。ＣＯＣＣＯはしむれで一足早い春を満喫してみませんか。入場は無料です。皆様のお越しをお待ちしています。

おいしいとこがふえました　カフェすてっぷあっぷ

古代懐石が評判のカフェすてっぷあっぷのメニューに新たに「古代餅」が加わりました。香ばしい赤米入りのお餅にすっきりした甘さの黒蜜のたれ。一度食べたら忘れられない味です。ぜひご賞味あれ。また65才以上の方には、コーヒーのタイムサービスがあります。午前10時から11時まで午後３時から５時までは、１杯百円です。うららかな春のひととき、すてっぷあっぷでおくつろぎください。

古代からの手紙 その二

春の足音が聞こえてきそうな今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月は池田校区の遺跡をご紹介いたします。池田校区といえば、まず思い浮かぶのが池田湖です。今でもたくさんの人々が訪れる名所ですが、私たちも家族でよく釣りや遊びに行ったものです。縄文時代の中頃、およそ5500年前に大きな噴火があって、その後湖になったと、はしむれ村の言い伝えにもありました。その時、大きな地震も起きたそうです。この噴火でたくさんの村が埋まってしまったと聞いていますが、定かではありません。

さて、池田湖のほとりにも弥生時代から古墳時代の小さな村がありました。今は「仮屋」と呼ばれているあたりでしょうか。この村の人たちと池田湖で一緒に過ごしたこともありました。まだその村は見つかっていないのでしょうか。もし、見つかった時には、よく調べて下さい。わたしが貸したままの釣り針があるはずです。

池田湖だけは、古代の姿そのままです。いつまでも美しい憩いの場であってほしいと心から祈っています。それでは、また、ごきげんよう。

はしむれ村
ここまろ

COCCOまんが道場

名馬池月伝説で知られる指宿。指宿では、およそ1500年前の古墳時代の馬の骨が見つかっていることから、その頃には既に馬が飼われていたようです。しかし、あぶみや鞍などの乗馬に必要な道具はまだ発見されていません。乗馬、運搬、戦闘にと活躍した馬。時には、いけにえとして古墳の周りに葬られることもあったようです。ところで、古代人も馬刺しを食べていたのでしょうか？

アシスタント・ティーチャー募集のお知らせ

COCCOはしむれでは、受付と館内の案内業務に携わっていただくアシスタント・ティーチャーを募集しています。昭和41年4月1日～昭和53年3月31日までに生まれた方で、指宿市内在住の健康な女性のご応募をお待ちしています。申し込みは3月15日まで、必着です。詳しくは当館までお尋ねください。

電話23－5100

古代ごぼれ話

西暦874年3月25日、開聞岳が大噴火し、現在の指宿市街地一帯を埋め尽くしました。今年の3月25日で噴火から1123年目を迎えます。かつて大きな災害をもたらしたとは思えない美しい姿の開聞岳。災害の記憶はともすると風化しがちですが、災害とそれを乗り越えた人々の歴史を未来に語り伝えることが現代の私たちの大切な役目の一つではないでしょうか。普賢岳噴火、8・6災害。そして阪神・淡路大震災。まさに一災害は忘れたころにやってくる』のです。

3月の休館日

3日（月）10日（月）17日（月）24日（月）26日（水）31日（月）

詳しくは当館までお尋ねください。電話23－5100

(13) 図録・ミュージアムグッズの頒布

考古博物館の２階のカフェすてっぷあっぷでは，ミュージアムグッズの販売が行われている。これは，博物館への来館の記念とする物品の販売を行い，かつ，博物館の持つイメージとして，固いイメージを払拭し，博物館の付加価値を高めることにある。

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでオリジナルに開発・販売している物品

・オリジナルテレホンカード
・オリジナルレターセット
・１筆便箋
・オリジナルキーホルダー（２種）

これらのグッズについては，カフェすてっぷあっぷに販売委託をしている。その他，カフェすてっぷあっぷでは，地域の特色のある薩摩焼，博物館関係図書，地域関係図書などの販売も行っている。

(14) カフェの委託

〈カフェすてっぷあっぷ〉

考古博物館の２階には，博物館のオリジナルグッズの販売と軽食が行えるカフェ「すてっぷあっぷ」がある。これは，指宿市内の女性グループが指宿市から床借りし，グループ活動の一環として運営している。平成６年に結成した「すてっぷあっぷ」の女性活動自主グループは，自己を見つめ直すことで自己認識をし，これからの個人の生活の中で自己啓発を行いながら，生活する社会を市民代表として少しでも理想的なものに変えていくことを主旨として，博物館の２階のカフェをグループ活動の窓口として，以下の活動を具体的に実践している。

・行政で出来ない部分を民間として補強。
・グループ会員の自己反省に基づく自己改良と向上。
・カフェを「出会いの場」・「憩いの場」として位置づけ，指宿市民を代表として市内，市外，県外を問わず来館した方々と接する。

この具体的な活動をカフェで行う中で，カフェは自然と指宿市内の年輩の方々や女性の憩いの場所として，またサロンとして多くの方々から利用されており，そこで展開する会話はグループ「すてっぷあっぷ」が他地域のグループとの連帯やネットワークの強化をはかっていくもので，鹿児島県下における女性活動の発展に寄与していると同時に，現代社会問題の一つに挙げられる女性問題の中の「女性社会活動参加」に大きく貢献しているようである。

このことは，指宿市もしくは指宿郡１市４町の市民レベルから行政側に「村おこし」・「生活改善」・「社会福祉充実」等の部分で働きかけるきっかけとなり，行政とタイアップすることでより一層生活空間が理想的に変わっていくことにもつながる。指宿市考古博物館の２階にグループ活動の一環として運営しているカフェであるが，決して営利目的のものではなく，グループ会員の共通認識を踏まえた上での，個人個人の問題意識の延長線で自己啓発と，グループの主旨に則った理想追求の活動の一環として実践している。

このような立場を固持している民間側と指宿市考古博物館の行政側と連動しタイアップしながら博物館の運営を行い，来館者（観光客・自己啓発や自己向上を目的としている人々）と接している地方公共団体は少ない。この場所では，行政側から提供する「生涯学習の場」では起こりにくい，自然発生的に芽生えた「生涯学習への意欲」が感じられる。この様相は，情報発信基地として誕生した指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯはしむれの達成すべき目標の姿でもあり，博物館が開館してから１年間の成果のひとつでもある。

ミュージアムグッズ

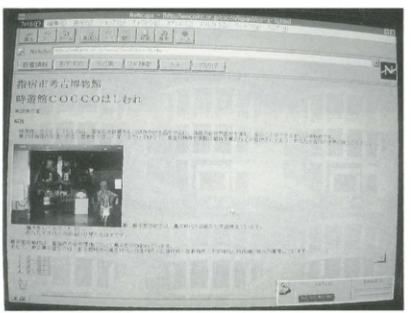
カフェすてっぷあっぷ風景

カフェすてっぷあっぷ風景

(16) 博物館広報・ホームページ管理

博物館の内容について，情報発信する手段として，インターネットによるホームページを掲載して広く開放している。ホームページは，34ページで，その他関連のサイトへのリンクも行っている。

また，外国からのアクセスを考慮し，英文も表記している。内容については，博物館の概要と常設展示の内容について解説している。



ＵＲＬ；　http：//www.minc.or.jp/cocco
メール；　cocco@po.minc.or.jp

◆ 後援・協賛事業の部

(17) シルバー美術展

指宿市においては，生涯学習における高齢者学習の創作活動の一般公開の場として，また，芸術文化の振興に寄与することを目的として平成２年度から開催しており，今年度で第７回目をむかえる。平成８年度からは指宿市考古博物館の特別展示室・講堂・ロビーを用いて展示することとなった。

a. 日　　時　平成８年８月４日（日）～15日（日）
b. 主　　催　指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会
c. 出展作品数　253点（市内28点・市外225点）
d. 出展者数　185名（市内18名・市外167名）
e. 最高齢者　89歳　満山直之輔氏（喜入）
f. 平均年齢　70歳
g. 年齢別構成　60歳代　96名
　　70歳代　74名
　　80歳代　15名
h. 出展作品種別　洋　　画　153点
　　水彩画　7点
　　日本画　57点
　　ちぎり絵　30点
　　版　　画　5点
　　七　　宝　1点

シルバー美術展

◆ 発掘調査の部

(22) 国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡等範囲確認調査

国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡は，大正13年に指定を受け，平成８年に追加指定を受けた。本確認調査は，国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の範囲を確認すると同時に，各時代の集落構造について把握するために，平成４年度から継続的に実施されている発掘調査である。

a. 調査期間　平成８年８月27日～平成８年３月31日
b. 調査遺跡　国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡　他
c. 調査面積　47㎡

(23) 敷領遺跡の発掘調査（市・県営住宅建設に伴う発掘調査）

敷領遺跡の発掘調査は，県営・市営住宅の老朽化にともなう建て替え工事に伴う発掘調査で，弥生時代から中世までの遺構・遺物が検出された。特に，古墳時代では，集落遺跡で，８世紀中頃から９世紀前半時期には，官衙的な施設が発見されている。

２間×２間の総柱の建物跡や，２間×３間の建物などが多数発見されている。また，転用硯なども発見されており，今後，指宿郡衙としての可能性も追求する必要があろう。

a. 調査期間　平成８年11月６日～平成９年３月25日
b. 調査遺跡　敷領遺跡
c. 調査面積　1,132㎡

(24) 向吉地区発掘調査（下水道敷設に伴う発掘調査）

向吉遺跡は，国指定史跡橋牟礼川遺跡の南側に広がる遺跡として認識されているもので，下水道管きょ敷設事業に伴い発掘調査が行われた。そこでは，古墳時代の遺構・遺物の他，特に，縄文時代晩期の遺構・遺物が発見された。

a. 調査期間　平成８年７月１日～平成８年12月27日
b. 調査遺跡　向吉遺跡
c. 調査面積　2,880㎡

(25) 広域農道整備事業に伴う埋蔵文化財確認調査

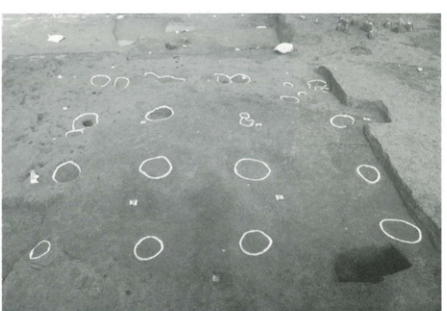
鹿児島県耕地事務所が主体とする広域営農団地農道整備事業（南薩東部地区）に伴う埋蔵文化財確認調査を指宿市教育委員会が委託を受けて実施した。

平成８年６月補正により埋蔵文化財確認調査費を計上。同年６月25日に鹿児島県耕地事務所，指宿市耕地課，指宿市教育委員会の職員による現地調査を実施した。農道建設予定地内にある水迫遺跡と中尾迫遺跡内に10のトレンチを設定し遺物包含層の有無を確認し，確認した場合は，次年度以降本調査を行うということになった。

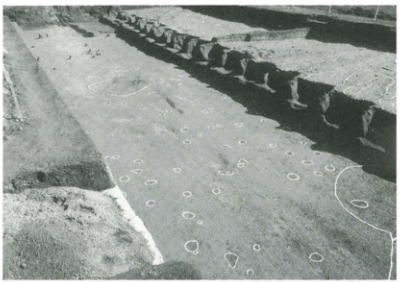
a. 調査期間　平成８年７月17日～平成８年10月15日
b. 調査遺跡　水迫遺跡・中尾迫遺跡
c. 調査面積　32㎡

重要遺跡
範囲確認調査

敷領遺跡
水田検出状況

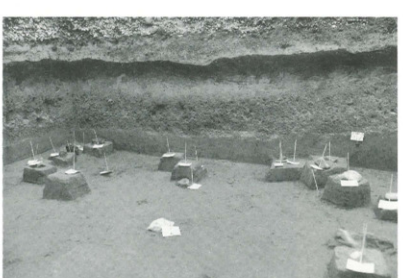


敷領遺跡
総柱建物



敷領遺跡
古墳時代集落

向吉遺跡
建物出土状況



水追遺跡
遺物出土状況

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
平成８年度の入館者推移表

年間の入場者数は下表のとおりである。

	入館者(人)	累計入館者	開　館　日	平均入館者	有料入館者	無料入館者
４月	13,927	13,927	11	1266	4,150	9,777
５月	14,790	28,717	28	528	14,336	454
６月	5,588	34,305	25	224	5,259	329
７月	5,323	39,628	24	222	5,092	231
８月	9,202	48,830	28	329	8,294	908
９月	5,847	54,677	27	217	5,793	54
10月	5,550	60,227	25	222	5,282	268
11月	4,654	64,881	25	186	4,569	85
12月	2,144	67,025	25	86	2,122	23
１月	2,924	69,949	27	108	2,903	21
２月	2,500	72,449	23	109	2,479	21
累計	72,449		268	270	60,247	12,171

（平成８年４月20日～平成９年２月28日）

有村かおり名誉館長就任式(11月)

聖亜幼稚園児たちの飾りつけによる
クリスマスツリー(12月)

指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例

（設置）
第１条　国指定史跡橋牟礼川遺物包含地を中心とし，指宿の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに，市民の教育，学術及び文化の発展に寄与するため，指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼（以下「時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼」という。）を設置する。

（位置）
第２条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の位置は，指宿市十二町2290番地とする。

（所管）
第３条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は，教育委員会の所管とする。

（事業）
第４条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は，次に掲げる事業を行うものとする。
(1)　考古，民俗，歴史，美術工芸品及びその他の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し，整理保管し，及び展示すること。
(2)　博物館資料並びに地域に存する文化財及び史跡等に関する専門的な調査研究を行うこと。
(3)　博物館資料の修復，保存及び一般公開のための技術的研究に関すること。
(4)　展覧会，講演会，研究会，講座等を主催すること。
(5)　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼及び博物館資料に関する案内書，解説書，図録，紀要，調査報告書等の作成及び頒布に関すること。
(6)　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の施設及び設備の使用に関すること。
(7)　その他，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に必要な事業に関すること。

（職員）
第５条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に，館長その他必要な職員を置く。

（観覧料）
第６条　観覧者は，別表第１に定める観覧料を入館前に納入しなければならない。ただし，教育委員会が特別な理由があると認めたときは，これを後納することができる。
２　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼が企画する特別展示の資料等を観覧しようとする者は，教育委員会が特別に定める額の観覧料を納めなければならない。

（使用許可等）
第７条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の特別展示室，講堂等の施設及びこれらに付属する設備等（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は，あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）が，許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。
２　使用者は，施設等の使用を中止し，又は終了したときは，直ちにその旨を教育委員会に届け出なければならない。

（観覧及び使用許可の条件等）
第８条　教育委員会は，次の各号の一に該当するときは，観覧及び施設等の使用を許可しないものとする。
(1)　公序良俗を乱すおそれがあると認めるとき。

(2) 時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の収蔵資料（以下「収蔵資料」という。）又は施設等を損傷するおそれがあると認められるとき。
(3) 時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上支障があると認めるとき。
(4) その団体の構成員が集団的に，又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれのある団体の利益になると認められるとき。
(5) その他，教育委員会が観覧及び使用を不適当と認めるとき。
２　教育委員会は，前条の許可に時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要な条件を付することができる。

（観覧及び使用許可の取消し等）
第９条　教育委員会は，次の各号の一に該当するときは，観覧及び施設等の使用を停止し，又は許可を取り消すことができる。
(1) 観覧者又は使用者が，この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
(2) 使用者が使用許可の条件に違反したとき。
(3) 使用者が偽りその他不正な手段により使用許可を受けたとき。
(4) 公益上特にその必要があるとき。
(5) 前各号に掲げる場合のほか，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上特に必要を認めたとき。
２　前項の規定により，教育委員会が使用許可を取り消した場合において，使用者に損害が生じても，市はその賠償の責めを負わないものとする。ただし，前項第４号又は第５号に該当したことにより，これらの処分がなされた場合はこの限りでない。

（施設使用料）
第10条　使用者は，別表第２に定める施設使用料を前納しなければならない。ただし，教育委員会が特別な理由があると認めたときは，これを後納することができる。
２　既納の施設使用料は，返還しない。ただし，次の各号の一に該当するときは，その全部又は一部を返還するものとする。
(1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により施設等の使用が不能となったとき。
(2) 公益上又は時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上の必要により使用許可を取り消したとき。
(3) 使用者が使用開始前に使用許可の取消しを申し出て，教育委員会がこれを認めたとき。
(4) 前３号に掲げる場合のほか，教育委員会が特別な理由があると認めたとき。

（観覧料等の減免）
第11条　教育委員会は，公益上の理由その他特別な理由があると認めるときは，第６条に規定する観覧料又は前条に規定する施設使用料を減額し，又は免除することができる。

（損害賠償）
第12条　収蔵資料又は施設等を故意又は重大な過失により損傷若しくは滅失した者は，その損害を賠償しなければならない。

（委任）
第13条　この条例の施行に関して必要な事項は，教育委員会規則で定める。

附　則
この条例は，平成８年４月１日から施行する。

観覧料

区分	個人（1人1回につき）	団体（20人以上）（1人1回につき）
大人	500円	400円
高校・大学生	400円	300円
小人（小・中学生）	300円	200円

施設使用料

区分		時間	使用料
特別展示室講堂	入場料を徴収する場合又は営利を目的とする場合	午前9時から午後5時まで1時間につき	800円
		午後5時から午後10時まで1時間につき	1,200円
	入場料を徴収しない場合	午前9時から午後5時まで1時間につき	400円
		午後5時から午後10時まで1時間につき	600円
ガイダンスシアター室	入場料を徴収する場合又は営利を目的とする場合	午前9時から午後5時まで1時間につき	400円
		午後5時から午後10時まで1時間につき	600円
	入場料を徴収しない場合	午前9時から午後5時まで1時間につき	200円
		午後5時から午後10時まで1時間につき	300円
博物館小会議室		午前9時から午後5時まで1時間につき	100円
ガイダンス施設研修室		午後5時から午後10時まで1時間につき	150円
冷暖房	特別展示室・講堂	1時間につき	400円
	ガイダンスシアター室		600円
	その他の施設		100円
ガイダンス施設映像・音響機等		午前9時から午後5時まで1時間につき	1,000円
		午後5時から午後10時まで1時間につき	1,500円
特別展示室	壁面ケース	午前9時から午後10時まで	1,000円
	展示ケース（1台につき）	午前9時から午後10時まで	500円

指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例施行規則

（趣旨）

第１条　この規則は，指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の設置及び管理に関する条例（平成７年指宿市条例第33号。以下「条例」という。）第13条の規定に基づき，指宿市考古博物館時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼（以下「時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼」という。）の管理，運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第２条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の休館日は，次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　月曜日（その日が，国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは，その翌日以後の最初の同法に規定する休日でない日）とする。ただし，１月１日から１月３日までの日が月曜日に当たる場合は，この限りでない。

⑵　館内整理日（毎月第４水曜日）

２　教育委員会は，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要があると認めるときは，前項の規定にかかわらず，休館日を変更し，又は臨時に休館日を設けることができる。

（開館時間）

第３条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の開館時間は，午前９時から午後５時までとする。ただし，入館時間は，午後４時30分までとする。

２　条例第７条による使用の許可を受けた場合の開館時間は，前項の規定にかかわらず午後10時までとすることができる。

３　教育委員会は，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理運営上必要があると認めるときは，前項の開館時間又は入館時間を臨時に変更することができる。

（観覧券の交付）

第４条　教育委員会は，条例第６条に規定する観覧料を納入した者に，別に定める観覧券を交付する。

（使用許可の申請）

第５条　条例第７条の使用の許可を受けようとする者は，教育委員会に施設等使用許可（変更）申請書（別記第１号様式）を提出しなければならない。

２　教育委員会は，前項の申請書を受理したときは，申請書の記載事項及び条例第７条に規定する事項について審査し，適当と認めたときは施設等使用許可（変更）証（別記第２号様式）を交付するものとする。

（使用許可の中止）

第６条　施設等の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が，使用の中止をしようとするときは，施設等使用許可中止届（別記第３号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（入館者が守るべき事項）

第７条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼に入館した者は，次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

⑴　施設，設備又は博物館資料をき損しないこと。

⑵　所定の場所以外で飲食，喫煙，火気使用等の行為をしないこと。

⑶　許可なく，博物館資料の移動，模写又は撮影をしないこと。

⑷　許可なく，物品の販売，募金，宣伝その他これらに類する行為をしないこと。

⑸　その他係員の指示に従うこと。

（施設使用料の返還）

第８条　条例第10条第２項ただし書きの規定による既納の施設使用料の返還は，次の各号に掲げる場合ごとに当該各号に定める額について行う。

⑴　災害その他使用者の責めに帰することができない理由により，使用許可を取り消したとき。

未　使　用　期　間　に　相　当　す　る　額

⑵　公益上又は時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上の理由により，使用許可を取り消したとき。

未　使　用　期　間　に　相　当　す　る　額

⑶　使用者が使用開始前に使用許可の取消しを申し出て，教育委員会がこれを認めたとき。

既　納　の　施　設　使　用　料　の　５　割　相　当　額

⑷　前３号に掲げる場合のほか，教育委員会が特別な理由があると認めたとき。

既納の施設使用料の５割以内で教育委員会が個別に定める額

２　条例第10条第２項ただし書きの規定により既納の施設使用料の返還を受けようとする者は，施設使用料返還申請書（別記第４号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（観覧料，施設使用料の減免）

第９条　条例第11条の規定により観覧料を減額又は免除する場合の対象となる者は，次の各号に定めるものとする。

⑴　教育課程に基づく学習活動として入館する市内の小学校，中学校又は養護学校の児童及び生徒並びに引　率　者　観　覧　料　の　全　額

⑵　その他教育委員会が適当と認めた者

観　覧　料　の　５　割　以　内

２　条例第11条の規定により施設使用料を減額又は免除する場合の基準は，次の各号に定めるとおりとする。

⑴　市が主催する行事のため使用するとき。

施　設　使　用　料　の　全　額

⑵　その他必要があると認めたとき。

施　設　使　用　料　の　５　割　以　内

３　条例第11条の規定により観覧料及び施設使用料の減額又は免除を受けようとする者は，観覧料・施設使用料減免申請書（別記第５号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

（博物館資料の寄贈又は寄託）

第10条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼は，博物館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

２　博物館資料を寄贈しようとする者で，教育委員会が承認したものについては博物館寄贈資料申出書（別記第６号様式）を教育委員会に提出し，教育委員会は，博物館資料を寄贈した者に対して博物館寄贈資料受領証（別記第７号様式）を交付するものとする。

３　博物館資料を寄託しようとする者で，教育委員会が承認したものについては博物館寄託資料申出書（別記第８号様式）を教育委員会に提出し，教育委員会は，博物館資料を寄託した者に対して期間を定めた博物館寄託資料受託証（別記第９号様式）を交付するものとする。

４　博物館寄託資料の返還を請求しようとする者は，博物館寄託資料返還請求書（別記第10号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

５　寄託された資料の管理は，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

６　教育委員会は，寄託された博物館資料が天災その他の不可抗力による損害に対し，その賠償の責を負わないものとする。

（経費の負担）
第11条　寄贈又は寄託に要する経費は，寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし，教育委員会が必要と認めた場合は，この限りでない。

（博物館資料の館外貸出し）
第12条　時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼が収集し，保管し，又は展示する資料（以下「博物館資料」という。）の館外貸出しは行わない。ただし，学術上の調査研究又は教育の普及の目的のために使用されるものであり，かつ，博物館資料の取扱い上の安全性が確認されるものであるといえる場合は，館外貸出しを行うことがある。
2　前条ただし書の規定による博物館資料の館外貸出しを受けようとする者は，教育委員会に博物館資料貸出し許可申請書（別記第11号様式）を提出し，その許可を受けなければならない。この場合において，館外貸出しの申請による博物館資料が寄託された資料であるときは，博物館資料貸出許可申請書に，当該資料寄託者の承諾書を添付しなければならない。
3　教育委員会は，前項の規定により博物館資料の館外貸出しの許可をしたときは，当該許可の申請をした者に，博物館資料貸出許可書（別記第12号様式）を交付する。

（貸出期間）
第13条　博物館資料の館外貸出期間は，30日以内とする。ただし，教育委員会が特に必要と認めたときは，貸出期間を延長することができる。

（博物館資料の特別利用）
第14条　学術上の調査研究のため，博物館資料を特別に使用しようとする者は，博物館資料特別利用申請書（別記第13号様式）を教育委員会に提出し，その許可を受けなければならない。この場合において，当該申請にかかる博物館資料が寄託された資料であるときは，第12条第２項後段の規定を準用する。
2　教育委員会は，前項の規定をしたときは，博物館資料特別利用許可書（別記第14号様式）を交付する。

（施設，設備等のき損届）
第15条　使用者は，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の施設若しくは設備又は博物館資料を損傷し，又は滅失したときは，直ちにその旨を教育委員会に届け出て，その指示に従わなければならない。

（職員の立入り）
第16条　教育委員会は，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理上必要があると認めるときは，使用許可を受けた者が現に使用している施設に職員を立ち入らせ，必要な指示をさせることがある。

（雑則）
第17条　この規則に定めるもののほか，時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼の管理及び運営に関し必要な事項は，教育委員会が別に定める。

附　則
この規則は，平成８年４月１日から施行する。

指宿市考古博物館　時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ　諸様式

第１号様式（第５条関係）

施設等使用許可（変更）申請書

年　　月　　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　　印
（団体の場合は名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の施設等を使用（変更）したいので，申請します。
なお，使用に際しましては関係条例・規則及びこれに基づく指示に従います。

記

	許可事項	変更事項
使用目的		
使用施設		
使用日時	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで
入場料等	有　無　　円	有　無　　円
設備等の設置	有　無	有　無
会合又は入場予定人員		
使用責任者住所・氏名	電話	
備考		

第２号様式（第５条関係）

施設等使用許可（変更）証

年　月　日

様

指宿市教育委員会　印

年　月　日付けで申請のあった施設等の使用（変更）は，下記のとおり許可します。

記

使用目的	
使用施設	
使用日時	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで
入場料等	有　無　円
設備等の設置	有　無
許可条件	
使用責任者 住所・氏名	電話
使用料	円
備考	

第３号様式（第６条関係）

施　設　等　使　用　許　可　中　止　届

年　　月　　日

指宿市教育委員会　　殿

住　所

氏　名　　印

（団体の場合は名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の施設等使用について，下記のとおり中止したいので申請します。

記

許可事項	使用施設	
	使用日時	年　月　日　時　分から 年　月　日　時　分まで
中止事項	中止理由	
	使用施設	

備　考

注　※印の欄は，記入しないでください。

第４号様式（第８条関係）

施　設　使　用　料　返　還　申　請　書

年　　月　　日

指宿市教育委員会　　殿

住　所

氏　名　　印
（団体の場合は，名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の施設使用料の返還を受けたいので，下記のとおり申請します。

記

許可年月日	年　　月　　日			
使用を取消した施設				
使用料の返還を受けようとする理由				
※返還額	既納使用料	返還割合	返還額	備考
	円	割	円	
備考				

注　※印の欄は，記入しないでください。

第５号様式（第９条関係）

観覧料・施設使用料減免申請書

年　　月　　日

指宿市教育委員会　殿

住　所

氏　名　　印
（団体の場合は名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の観覧料及び施設使用料の減額（免除）を受けたいので，下記のとおり申請します。

記

利用・使用日時	年　月　日　時から 年　月　日　時まで		（　日間 　時間）	
観覧及び使用する施設				
観覧料及び施設使用料の減免を受けようとする理由				
※減免額		観覧料	施設使用料	
	減額	割 円	割 円	
	免除	人員　人 額　円	人員　人 額　円	
	引率者名			
備考				

注　※印の欄は，記入しないでください。

第６号様式（第10条関係）

博物館寄贈資料申出書

年　　月　　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　　印
（団体の場合は名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の収蔵資料として，下記のとおり寄贈したいので申し出ます。

記

資料名	規格	数量	備考

第７号様式（第10条関係）

第　　号
年　　月　　日

博物館寄贈資料受領証

様

指宿市教育委員会　　印

下記のとおり博物館資料を受領いたしました。

記

資料名	規格	数量	備考

第８号様式（第10条関係）

博物館寄託資料申出書

年　月　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　印
（団体の場合は名称及び代表者名）

指宿市考古博物館（時遊館ＣＯＣＣＯ橋牟礼）の収蔵資料として，下記のとおり寄託したいので申し出ます。

記

資料名	寄託条件	数量	備考

寄託期間

年　月　日から　年　月　日まで

第９号様式（第10条関係）

第　　号
年　　月　　日

博　物　館　寄　託　資　料　受　託　証

様

指宿市教育委員会　　印

下記のとおり博物館資料を受託しました。

記

資　料　名	寄託条件	数　量	備　　考
確　認　事　項			

受託期間

年　　月　　日から　　年　　月　　日まで

第10号様式（第10条関係）

博物館寄託資料返還請求書

年　月　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　印

（団体の場合は名称及び代表者名）

次のとおり博物館寄託資料の返還を請求します。

記

返還博物館寄託資料名	数量	備考

第11号様式（第12条関係）

博物館資料貸出許可申請書

年　月　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　印

（団体の場合は名称及び代表者名）

次のとおり博物館資料の館外貸出しを受けたいので申請します。

記

利用目的		
貸出期間	年　月　日から　年　月　日まで	
利用場所		
利用方法		
貸出資料	標本番号	備考（形態等）
輸送方法		
資料取扱担当者		

第12号様式（第12条関係）

博物館資料貸出許可書

年　月　日

様

指宿市教育委員会　印

次のとおり博物館資料の館外貸出しを許可します。

記

利用目的			
貸出期間	年　月　日から　年　月　日まで		
利用場所			
利用方法			
貸出資料	標本番号	備考（形態等）	
輸送方法			
注意事項			

第13号様式（第14条関係）

博物館資料特別利用申請書

年　　月　　日

指宿市教育委員会　殿

住所

氏名　　印
（団体の場合は名称及び代表者名）

次のとおり博物館資料の特別利用したいので申請します。

記

利用目的		
利用期間	年　月　日から　年　月　日まで	
利用資料名	標本番号	備考（形態等）

第14号様式（第14条関係）

博物館資料特別利用許可書

年　　月　　日

様

指宿市教育委員会　　印

次のとおり博物館資料の特別利用を許可します。

記

利用目的		
利用期間	年　月　日から　年　月　日まで	
利用資料名	標本番号	備考（形態等）
注意事項		

紀　要　編

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ平成８年度陶磁器コレクション

1. はじめに

平成８年度の時遊館ＣＯＣＣＯはしむれにおける陶磁器コレクションは，国際ソロプチミスト指宿による陶磁器253点，昭和50年代の指宿市教育委員会収集の資料65点の継続及び追加があり，個人からの寄贈陶磁器が３点の計321点の陶磁器資料が登録された。

これらの陶磁器のほとんどは，薩摩焼，琉球系陶器，肥前系陶磁器である。

国際ソロプチミスト指宿による寄贈資料については，平成８年10月に企画展示会『暮しの中の薩摩焼』における図記中にそのリストを掲載した。

ここでは重複を避け，昭和50年代に指宿市教育委員会が行った収集資料のリストと特記すべき資料について掲載すると同時に，個人の寄贈資料についてリストを掲載する。

2. 昭和50年代に指宿市教育委員会による収集資料

昭和50年代に指宿市教育委員会が行った資料収集活動は，各自治公民館館長への働きかけを行ったと当時に，各地区館長が収集した資料を指宿市本庁公用車ガレージに付随する倉庫に保管されていた物である。

これら資料は，民俗資料，美術工芸資料（陶磁器資料），考古資料等である。

今回リストに掲載しているのは，工芸資料（陶磁器資料）である。

資料番号については，1997年の収集資料として，“97-1”といった表記を行っている。

3. 資料の分類

〔1〕 三耳大壺（97-1, 2, 4, 5, 9, 15, 22）

三耳大壺は，焼締（1, 2, 22）と褐釉のものがある。

従来，能野焼といわれるものに近いものがあるが，現在，判別の指標に欠く。特に５は木製の蓋が附属する資料で，薩摩焼における徳利や壺などの蓋については木製が通常用いられ，その蓋使用の実例として重要である。

〔2〕 四耳大壺（97-6, 10, 23, 24）

四耳大壺には，黒釉のものとそば釉のものがあり，両者共に苗代川系陶器とみてほぼ間違いないものと考えられる。時期については不詳である。

〔3〕 甕（97-3, 7, 8, 13, 14, 18）

甕には，現代のものと思われる8, 14, 18を除いて，褐釉のものである。

〔4〕 蛸壺（97-11, 19, 26, 31, 32, 54, 55）

蛸壺には，褐釉のものとそば釉のものがある。釘掻きによる焼成前の記銘資料が多く，『高野與助』銘が入るものが26, 31, 32がある。また，『高野甚助』銘が入るものに54がある。さらに，55には『石崎慶二』銘が入る。

これら蛸壺の形態，施釉状況から，苗代川系陶器と考えられる。

〔5〕 徳利（97-12, 37-42, 44-47, 49, 50, 52, 56, 58, 66）

徳利には，苗代川系徳利，琉球系徳利，肥前系徳利，その他不明のものと４種に大別することができる。

a. 苗代川系徳利（97-12, 44）

苗代川系の徳利の中で特に，『山徳利』と総称される徳利である。この徳利は，酒だけではなく，油ゆ醤油，水などの運搬・貯蔵・注ぐという機能を有するものである。

記銘のある12には，『拾弐盃入徳利』とあり，一盃＝2．５合となる。従って，この徳利の場合，30合つまり，３升入りの徳利と認めることができる。

b. 琉球系徳利（97-45, 49, 58）

いわゆる『鬼の腕』と俗称される徳利で，口径・底径に対して，器高が極めて高い，焼締の壺形

1997年収集民俗資料一覧（陶磁器）

番号	名称	口縁部径	底部径	胴部最大径	器高	記銘内容	その他
97－1	焼締三耳大壺	13.0	－	47.0	71.0		
97－2	焼締三耳壺	12.6	－	33.0	63.5		
97－3	甕	26.0	－	－	51.5		
97－4	褐釉三耳壺	13.0	－	34.0	61.0		
97－5	褐釉三耳大壺	12.5	－	42.0	72.0		木製蓋付
97－6	褐釉四耳大壺	14.5	－	47.5	64.0		胴部刻目突帯　苗代川
97－7	甕	30.0	－	－	55.5		
97－8	甕	29.5	－	－	38.0		
97－9	褐釉三耳壺	13.5	－	34.0	68.0		すす付着　苗代川
97－10	褐釉四耳壺	11.0	－	31.0	31.5		胴部一部欠損　苗代川
97－11	そば釉蛸壺	15.0	－	－	36.5		苗代川
97－12	黒釉徳利	9.0	－	19.5	29.5	九盃口斗　拾弐盃入徳利	苗代川
97－13	黒釉甕	25.0	－	－	46.5		二条突帯　苗代川
97－14	褐釉甕	34.0	－	－	47.0		
97－15	焼締三耳壺	14.0	－	31.0	62.0		
97－16	染付火鉢	16.2	－	－	18.8		
97－17	染付火鉢	14.6	－	－	14.9		
97－18	褐釉黒流甕	42.5	－	－	57.0		
97－19	褐釉蛸壺	16.4	－	－	29.2		苗代川
97－20	褐釉玉流湯たんぽ	2.6	－	長軸　30.2	11.4		龍門司
97－21	褐釉甕	31.8	－	－	45.5		
97－22	焼締三耳壺	15.0	－	41.0	68.6		

の陶磁器である。肩部に数条の回転轆轤による沈線が巡る。

琉球系とするが，この中には，種子島の能野窯などで生産されたものが含まれる可能性があり能野窯の生産実態が不明な現在，細かに弁別することは困難である。

C. 肥前系徳利（97-37,38,39,40,47,50,56）

いずれも染付徳利であるが，37-40,47,50については，牡丹文徳利で，いわゆる肥前系の徳利と考えてよい。特に，66については，波佐見系によく見られる笹文が描かれる。

d. その他の徳利（97-41,42,46,56）

41,42,46,56については，記銘があり，『金盛』という酒柄を売買していた『鹿児島市加野酒店』の徳利であることが知れる。

形態については，肩部が張り，口縁部を厚く肥厚させ，下げ紐を付けやすくしている。小口販売用容器とすることができる。

この徳利について，肥前系とすることは尚早の感があるが，電話番号などが付されていることから，20世紀前葉～中葉以降の資料であろう。このように考えれば，すでに鹿児島における染付生産が終焉する時期でもあり，むしろ肥前系諸窯への生産依頼を行っていた可能性もある。

同様に56は，『富士酒店』の銘等が入るものがある。

(6) 火鉢（97-16,17,25,27,29,35,48,51,59,61-63）

火鉢には，瓦器製火鉢，染付火鉢，その他の火鉢の３種に大別できる。

a. 瓦器製の火鉢については，その生産実態についてはほとんど調査・研究されていない。

おそらく，日置等瓦の生産地などにおいて，瓦窯において同時に生産されていたことも考えられる。

b. 染付火鉢（97-16,17,27,29,35,48,51,59）

染付火鉢については，山水図，花鳥文などが多く，その大きさは30cmを越えるものはなく，手火鉢と考えてよいであろう。生産地については不詳である。

c. その他の火鉢（97-25,63）

その他火鉢とするものは，現代の火鉢と考えられるものである。工業生産品と考えられる。

(7) 湯たんぽ（97-20,43）

20，43は湯たんぽで，かまぼこ形を呈する。20は褐釉を主体とし，玉流しを行っているものである。また，43は飴釉が施され，これらは，龍門司系の製品の可能性が高い。

(8) 黒釉壺（97-28）

蓋付の黒釉壺である。苗代川系のものと考えられる。

(9) 褐釉すり鉢（97-30）

片口の注ぎ口を有するすり鉢である。

(10) 白磁乳鉢（97-33）

白磁の乳鉢で，内面見込部は露胎である。すりこぎ棒の先端も磁器で，セットを成す。

(11) 山水図陽刻花瓶（97-36）

陶胎に山水図を陽刻した陶器で，全体に磨滅が著しい。黒釉とも思われる釉が所々に残る。山水図は，中国風の建物が描かれ，また，技法面からも，国内のものではないものと思量する。

おそらく土産物として持ち帰ったものではないか。また，陶器としては，焼成温度も低いと考えられ，陶胎の硬度が充分保てていない。

(12) 筒形花生及び花瓶（97-34,57,65）

34，57は筒形花生である。34は染付で，57は色絵であるが，工業生産品と考えられる。

65は，染付花瓶で，絵付けなどは手業である。鷹と梅を絵柄とする花鳥文が施される。

(13) 八角皿（97-60）

染付の花鳥文が施される八角皿で，近現代のものと思量する。

(14) その他（97-64）

このコレクションには，１点須恵器把手付き碗が混在していた。この資料の意義から，別に言及することとする。

番号	名称	口縁部径	底部径	胴部最大径	器高	記銘内容	その他
97−23	黒釉四耳大壺	18.6	−	37.0	59.6		木製蓋付　苗代川
97−24	そば釉四耳大壺	18.0	−	40.0	61.4		苗代川
97−25	青釉火鉢	26.4	−	−	20.4		
97−26	そば釉蛸壺	16.0	−	−	35.4	高野與助	苗代川
97−27	染付火鉢	18.0	−	18.0	21.4		
97−28	黒釉壺	14.8	−	20.2	33.8		蓋無　苗代川
97−29	染付火鉢	18.4	−	−	18.6		林山イネ氏寄贈
97−30	褐釉すり鉢	31.0	−	−	12.0		橋口ミサ氏寄贈
97−31	そば釉蛸壺	15.6	−	−	31.4	高野與助	苗代川
97−32	そば釉蛸壺	11.8	−	−	26.4	高野與助	苗代川
97−33	白磁乳鉢	20.6	−	−	12.8		すりこぎ棒付
97−34	筒形染付山水図花	12.2	−	−	30.4		
97−35	染付山水図火鉢	17.0	−	−	22.8		
97−36	山水図陽刻花瓶	8.0	−	12.4	18.6		黒釉？
97−37	染付牡丹文徳利	3.8	−	15.2	27.4		肥前系
97−38	染付牡丹文徳利	4.2	−	15.4	27.5		肥前系
97−39	染付牡丹文徳利	4.6	−	19.4	35.0		肥前系
97−40	染付牡丹文徳利	3.5	−	11.6	20.8		肥前系
97−41	染付徳利	4.7	−	13.6	28.1	酒銘金盛茅十二号 鹿児島市加野分店電話九一番	
97−41	染付徳利	4.5	−	13.2	28.2	酒銘金盛茅百五十五号 鹿児島市加野酒店電話九一番	
97−43	飴釉湯たんぽ	2.4	−	長軸　23.4	9.6		福留進氏寄贈　龍門司
97−44	黒釉徳利	6.6	−	−	25.4		福留進氏寄贈　苗代川

番号	名称	口縁部径	底部径	胴部最大径	器高	記銘内容	その他
97－45	焼締徳利	破損		8.0	23.0		
97－46	染付徳利	4.4		16.2	28.4	鹿児島市加野分店	湯地サス氏寄贈
97－47	染付牡丹文徳利	3.8		16.8	27.8		肥前系
97－48	染付山水図火鉢	16.4			18.6		
97－49	焼締徳利	5.2		9.2	26.6		
97－50	染付牡丹文徳利	3.8		17.0	25.8		肥前系
97－51	染付山水図火鉢	18.6			18.0		
97－52	褐釉徳利	6.3		16.0	23.8	国生傳蔵	上床サチ子氏寄贈　苗代川
97－53	蓋付黒釉四耳壺	11.2		16.6	21.2		アンダガミ　琉球系
97－54	褐釉蛸壺	15.0			34.8	高野基助	苗代川
97－55	褐釉蛸壺	13.4			33.6	石崎慶二	苗代川
97－56	徳利	4.6		13.8	24.8	酒類卸口易居町二五 一富士酒店電話一九一六番	
97－57	花立	6.8		9.6	15.6		
97－58	焼締徳利	3.1		9.3	13.8		
97－59	染付花鳥文手火鉢	10.6			9.3		
97－60	染付花鳥文八角皿	27.8			4.7		
97－61	瓦器火鉢	26.0			25.0		
97－62	瓦器火鉢	25.6			24.2		
97－63	火鉢	22.0	—	—	27.8		
97－64	須恵器把手付碗	9.2	6.5	9.9	7.7		
97－65	染付花鳥文花瓶	20.6		24.0	43.0		
97－66	染付笹文徳利	4.4		15.6	28.0		波佐見系

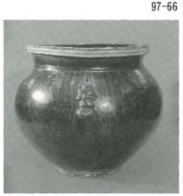
番号	名称	口縁部径	底部径	胴部最大径	器高	記銘内容	その他
97−67	黒釉蓋付三耳壺	10.2	−	16.8	15.0	刻印『龍門司芳林』	龍門司
97−68	染付菊文徳利	4.9	−	14.6	28.8		
97−69	甘酒貼付大黒半胴	29.6	−	34.7	31.6		苗代川系

97-64

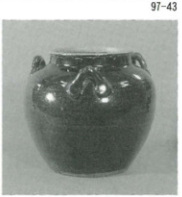
97-66

97-68

97-43

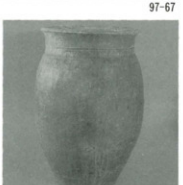

97-69

97-23

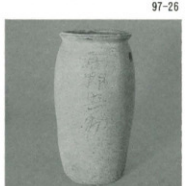

97-67

97-5

97-26


97-3

97-2


97-32

4. 個人寄贈資料

平成８年度において，個人の陶磁器寄贈資料（湯之上哲郎氏）については３点あった。

97-67は，黒釉蓋付三耳壺で『龍門司芳林』の刻印がある。

97-68は，染付菊文徳利である。肥前系のものか平佐系のものか判じがたい。

97-69は，褐釉貼付大黒文半胴である。全体的にやや失透を起こし，白色に窯変している。

文責　下　山　　覚（Satoru SHIMOYAMA）

指宿市内専売公社跡倉庫で発見された須恵器把手付き碗について

1. はじめに

平成８年４月20日，指宿市考古博物館『時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ』が開館した。この博物館の開館までは，指宿市の埋蔵文化財資料については，すべて，市内の専売公社跡地のたばこ乾燥・保管倉庫を代用し，収蔵していた。

この仮収蔵庫には，約2,500箱に及ぶパンケースやその他民具などが累積的に収蔵されていたものである。

これらの資料については，仮収蔵庫の除去に伴い，新博物館に平成９年１月８日～同年同月14日の６日間にわたって移動作業を実施した。

その際，民具資料の薩摩焼に混在して須恵器把手付き碗が発見された。以下，この資料について報告する。

2. 履歴について

指宿市では，発掘調査により出土した資料については，すべて，パンケースに収納し，運びいれていることと，完形の須恵器把手付き碗について，注意がされていないこと，また，過去の発掘調査報告書などでの掲載が行われていないことなどを考えあわせると，発掘調査において出土した資料でないことは明白である。

また，民具資料については，すべて，荷札をつけられていたが，その痕跡として，荷札の針金が把手に巻き付けられていることから，民具収集の際に運びこまれた可能性が高い。

しかし，荷札自体は欠落しており，誰の所蔵物件であったのかは不明となっている。

この混在していた民具資料は，指宿市庁舎の公用車ガレージに昭和50年代に収集されていたものであり，平成８年10付きに，そのガレージから専売公社跡地の仮収蔵庫へ資料の移動を行ったものである。

従って，本資料については，昭和50年代に当時，歴史民俗資料館の構想段階に収集されたものであると推測することができる。

しかし，誰がどこで収集したものであるかは依然として不明である。

3. 資料観察

資料は，須恵器把手付き碗である。完全品で口唇部に若干のケズレが見られるが，これは，最近のものであろう。

外面は，回転ロクロ整形によるナデおよび底部付近はヘラなどによる横方向のケズリが見られる。自然釉が部分的に付着する。

胴部最大径部は受け状に段を形成し，口縁部に向かって湾曲し，口縁部径と胴部最大径がほぼ同じ径を成す。口縁部内面は段が小さく形成される。

内面は，ロクロ回転によるナデで仕上げられる。内面胴部以下は，気泡の膨張による膨れが２ケ所ほど見られる。

内面見込み部には，自然釉が付着しており，調整痕が確認できない。また，底面は，やや磨滅しており，調整は判然としない。

その他全体の形態については，第１図のとおりである。

以上の観察から，本資料が後世に模造されたものではないことは間違いないものと考えられるが，その履歴は知りえない。おそらく昭和50年代の資料収集に際して提供された実物であるということができる。

4. 時期について

把手付き碗については，初期須恵器にその器種が存在することは周知のとおりである。

本資料の場合，その共伴する資料，出土の状況など全く不明であり，純粋に型式学的に年代のおよそ知れる資料と比較する方法によらねばならない。

まず，指宿市を含めた南部九州では，初期須恵器を生産した窯は未発見であり，指宿市内で採集されたものであれば古墳時代の流通の結果もたらされたものであると考えることが自然である。

指宿橋牟礼川遺跡などで発見される初期須恵器の中には，陶邑などからも流入品が確認されている現在，そのような可能性も棄却できない。

さて，観察において見られるような把手付き碗については，例えば，大阪府郡家川西遺跡などに類例を求めることができるが，胴部がやや高さがあり，坏部の胴部形態からは，大阪府野中古墳から出土した台付の把手付き碗にもやや似る。

口唇部の段の形成，胴部の受けの形態等からは，深田遺跡出土の碗に近似するものとも思われる。

このような比較から，中村浩氏編年のⅠ型式の範疇のものかと思量する。中村氏は，把手付き碗については陶邑においてⅠ型式５段階には，ほとんど生産が行われていないものと言及する（中村　1981）。

もちろん，陶邑で生産されたものと判じがたいものでもあり，その他，諸初期須恵器窯の中で，把手付き碗がどのような消長を辿るのかが問題視されるが，概略の時期としては，先述の範囲と捉えて大過ないであろう。

その様な点で，薩摩半島でこれまで発見されている初期須恵器については，Ⅰ型式５段階以降のものがほとんどであり，本資料については，その点では例外的に古い時期に属する可能性があるものと考えられる。

従って，実際に，指宿市近辺で採集されたものであるのかどうか疑ってしかるべきであろう。しかし，もし指宿市都での採集品であれば，最も古いの須恵器の資料と考えられるのである。

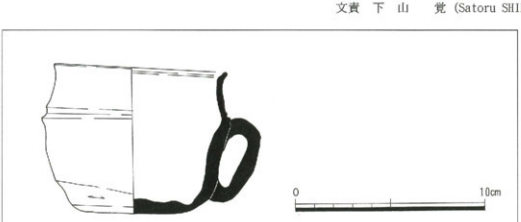
5.　まとめにかえて

以上のことから，完形の資料で，かつ，指宿市郡では最も古手の須恵器の可能性があるにもかかわらず，その履歴については，ほとんど知りえない。

今後，本資料について，少しでも記憶にとどめる人がでてくることを心から願ってやまない。そして，いわずもがな，博物館における資料収集活動は，資料価値を損なわないような履歴検証作業が重要な業務であると痛感する所でもある。

（参考文献）
大阪府教育委員会　1978『須恵邑Ⅲ』「大阪府文化財調査報告書第30輯」
北　野　耕　平　1976『河内野中古墳の研究』「大阪大学文学部国史研究室研究報告第二冊」
大阪大学
原　口　正　三　1979『須恵器』「日本の原始美術４」講談社
中　村　　浩　1981『和泉陶邑窯の研究』柏書房

文責　下　山　　覚（Satoru SHIMOYAMA）



第１図　専売公社跡地倉庫で発見された須恵器把手付き碗実測図（Ｓ＝１／２）

時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
博物館だより
平成９年３月
発行　鹿児島県指宿市教育委員会
鹿児島県指宿市十二町２２９０
℡　０９９３－２３－５１００
印刷所　株式会社トライ社
鹿児島市南林寺町12－６
℡　０９９－２２６－０８１５